

評価と評定について

さいたま市立田島中学校

1 評価についての基本的な考え方

- ・基礎的・基本的な内容を重視する立場から、各教科の学習内容について、各観点の評価を基本に、個人の到達度を評価します。

2 評価・評定について

(1) 各教科の評価・評定

- ・学期ごとに評価・評定を行います。3学期には学年評価・学年評定も加わります。

(2) 観点別学習状況の評価

- ・各教科の学習状況を、観点別に3段階で評価します。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価を行います。

A：十分満足できる

B：満足できる

C：努力を要する

(3) 評定

- ・観点別評価を総括し、数値として示す5段階の評定があります。
 - 5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
 - 4：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 - 3：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 - 2：「努力を要する」状況と判断されるもの
 - 1：「一層努力を要する」状況と判断されるもの

(4) 観点別学習状況の評価と評定

- ・観点別学習状況の観点ごとの評価結果A、B、Cの組み合わせで評定を判断する場合は、次に示す例が原則となります。各教科によって決められています。

観点別評価の組み合わせ			評定
AAA			5または4
AAB			4
ABB	BBB	BBC	3
BCC			2
CCC			2または1

国語科

1 学習のねらい

学習のねらい	(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (知識・技能) (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力を養う。 (思考力・判断力・表現力) (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語感覚に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)
使用教材	1年：伝え合う言葉 中学国語1（教育出版） 国語の学習1（明治図書） つまづかない文法ワーク（新学社） 漢字練習ノート1（東京法令出版） 国語便覧（浜島書店） 2年：伝え合う言葉 中学国語2（教育出版） 国語の学習2（明治図書） つまづかない文法ワーク（新学社） 漢字練習ノート2（東京法令出版） 国語便覧（浜島書店） 3年：伝え合う言葉 中学国語3（教育出版） 国語の学習3（明治図書） 新しい文法ワーク（明治図書） 級別漢字字典（新学社） 国語便覧（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	ノート／学習プリント 授業における成果物 スピーチ等の発表 小テスト、定期テスト等
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。	ノート／学習プリント 授業における成果物 スピーチ等の発表 小テスト、定期テスト等
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関ったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。	ノート／学習プリント 授業における成果物 スピーチ等の発表 小テスト、定期テスト等

国語科

3 学習方法についてのアドバイス

学 校	・意見の違いを恐れずに積極的に自分の考えを表現する。 ・授業を通して自分の考えを深める努力をする。 ・授業での指示や説明、他者の発言をよく聞く。 ・わからないことをそのままにしない。
家 庭	・教科書をよく読む。 ・漢字練習や文法の練習を根気よく取り組む。 ・読書を習慣づける。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例 【知】知識・技能／【思】思考・判断・表現 【主】主体的に学習に取り組む態度
1 年 1 学 期	・ふしぎ【詩】 ・桜蝶【小説】 ・言葉の単位【文法】 ・硬筆【書写】 ・自分の脳を知っていますか【論説】 ・ベンチ【小説】 ・森には魔法つかいがいる【論説】 ・文の成分【文法】	・詩歌に親しもうとしている【主】 ・語句や語彙に注目し、語感を豊かにしている。【思】 ・文章の構成や展開に着目して読むことができる。 【知】 ・縦書きの性質について理解して文字を正しく整えて書くことができる。【知】 ・言葉の単位を理解することができる。【知】
1 年 2 学 期	・箱に入った桃太郎【古文】 ・竹取物語【古文】 ・故事成語【漢文】 ・河童と蛙【詩】 ・オツベルと象【小説】 ・子どもの権利【論説】 ・蜘蛛の糸【小説】	・筆者の主張を捉えながら、批判的に読むことができる。【知】 ・他者の立場を理解し尊重する気持ちをもって作品を読むことができる。【主】 ・古典の世界に親しもうとしている。【主】 ・表現の仕方を考えたり資料を適切に用いたりして、文章を工夫している。【思】 ・自分の立場を明確にして、論理の展開などを考えて、構成を工夫できる。【思】 ・俳句や漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝えあったりしようとしている。【主】

国語科

1 年 3 学 期	・書き初め【書写】 ・言葉がつなぐ世界遺産【論説】 ・単語のいろいろ【文法】 ・四季の詩【詩】 ・少年の日の思い出【小説】	・文字のバランスを整え、正しい筆遣いで書くことができる。【知】 ・文章を読んで考えを広げ、人間・社会・自然について自分の意見をもつことができる。【思】 ・語彙を豊かにするとともに、言葉について関心を高めることができる。【主】
-----------------------	---	--

<第2学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例 【知】 知識・技能／【思】 思考・判断・表現 【主】 主体的に学習に取り組む態度
2 年 1 学 期	・虹の足【詩】 ・タオル【小説】 ・日本の花火の楽しみ【論説】 ・硬筆【書写】 ・水の山富士山【論説】 ・活用のない自立語【文法】 ・構成を明確にして手紙を書く【表現】 ・夢を跳ぶ【随筆】	・詩歌に親しもうとしている【主】 ・語句や語彙に注目し、語感を豊かにしている。【思】 ・文章の構成や展開に着目して読むことができる。【知】 ・横書きの性質について理解して文字を正しく整えて書くことができる。【知】 ・活用のない自立語を理解し、文章中の働きを判断することができる。【知】
2 年 2 学 期	・夏の葬列【小説】 ・紙の建築【論説】 ・敬語【文法】 ・敦盛の最期【古文】 ・活用のある自立語【文法】 ・随筆の味わい【古文】 ・二千五百年前からのメッセージ【漢文】 ・坊っちゃん【小説】 ・学ぶ力【論説】	・筆者の主張を捉えながら、批判的に読むことができる。【知】 ・他者の立場を理解し尊重する気持ちをもって作品を読むことができる。【主】 ・古典の世界に親しもうとしている。【主】 ・表現の仕方を考えたり資料を適切に用いたりして、文章を工夫している。【思】 ・自分の立場を明確にして、論理の展開などを考えて、構成を工夫できる。【思】
2 年 3 学 期	・書き初め【書写】 ・短歌の味わい【短歌】 ・ガイアの知性【論説】 ・走れメロス【小説】 ・付属語のいろいろ【文法】	・文字のバランスを整え、正しい筆遣いで書くことができる。【知】 ・俳句や漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝えあったりしようとしている。【主】 ・文章を読んで考えを広げ、人間・社会・自然について自分の意見をもつことができる。【思】 ・語彙を豊かにするとともに、言葉について関心を高めることができる。【主】

国語科

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例 【知】 知識・技能／【思】 思考・判断・表現 【主】 主体的に学習に取り組む態度
3 年 1 学 期	・ 春に【詩】 ・ 立ってくる春【随筆】 ・ なぜ物語が必要なのか【随筆】 ・ 私【小説】 ・ 硬筆【書写】 ・ メディア・リテラシーはなぜ必要か？【読書】 ・ ビブリオバトル（読書紹介）【表現】 ・ 呉音・漢音・唐音	・ 詩歌に親しもうとしている【主】 ・ 語句や語彙に注目し、語感を豊かにしている。 【思】 ・ 文章の構成や展開に着目して読むことができる。 【知】 ・ 行書について理解をして文字を正しく整えて書くことができる。【知】 ・ 助詞、助動詞を理解し、文章中の働きを判断することができる。【知】
3 年 2 学 期	・ AI は哲学できるか【論説】 ・ 具体例をもとに説明文を書く【表現】 ・ 助詞・助動詞のはたらき【文法】 ・ 和語・漢語・外来語／熟字訓 ・ Async——同期しないこと【論説】 ・ 問いかける言葉【論説】 ・ 旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』【古文】 ・ 和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集【古文】	・ 筆者の主張を捉えながら、批判的に読むことができる。【知】 ・ 他者の立場を理解し尊重する気持ちをもって作品を読むことができる。【主】 ・ 古典の世界に親しもうとしている。【主】 ・ 表現の仕方を考えたり資料を適切に用いたりして、文章を工夫している。【思】 ・ 自分の立場を明確にして、論理の展開などを考えて、構成を工夫できる。【思】
3 年 3 学 期	・ 書き初め【書写】 ・ 俳句の味わい【俳句】 ・ 風情と心情【漢文】 ・ 異字同訓／慣用句・ことわざ ・ 初恋【詩】 ・ 故郷【小説】 ・ 表現の工夫を評価してスピーチをする【表現】 ・ 四字熟語	・ 行書と仮名の調和に気をつけ、正しい筆遣いで書くことができる。【知】 ・ 俳句や漢文を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりしようとしている。【主】 ・ 文章を読んで考えを広げ、人間・社会・自然について自分の意見を持つ。【表】 ・ 語彙を豊かにするとともに、言葉についての関心を高めている。【主】

数学科

1 学習のねらい

学習のねらい	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
使用教材	1年：未来へひろがる数学1(啓林館)、数学リピート学習(正進社)、DASH80(浜島書店)、積み上げ(明治図書) 2年：未来へひろがる数学2(啓林館)、OKRA(正進社)、積み上げ(明治図書) 3年：未来へひろがる数学3(啓林館)、数学リピート学習(正進社)、スピード80(五ツ木書房)

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	- 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの知識を理解しているか。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けているか。 - 数学に関する用語や式の意味を理解できているか。 - 数量や関係を表現・処理ができているか。	定期・小テスト等 ノート・レポート等
思考・判断・表現	- 数学を活用して、事象を論理的に考察することができるか。 - 数量や図形などの性質を見いだし、数学を活用して問題解決(応用問題)ができるか。	定期・小テスト等 ノート・レポート等
主体的に学習に取り組む態度	- 数学の学習に主体的に取り組んでいるか。 - 数学を生活や学習に生かそうとしているか。 - 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしているか。	定期・小テスト等 授業中の態度・発言 提出物・ノート等

3 学習方法についてのアドバイス

学校	- これまでに身につけた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的にわかりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートには板書だけではなく、友達の説明や自分の考えなどを書き加えましょう。 - 課題を解き終えたら、問題集など進めましょう。
家庭	- わからない問題や間違えた問題はノートや教科書を参考に、理解しておきましょう。 - 授業の復習として、問題集や練習プリント等で定着を図りましょう。 - 間違えた問題は、ノートや付箋等を利用し解き直し、問題のポイントや間違えた理由も書くようにしましょう。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	1 正の数・負の数 ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の利用	○正の数と負の数の四則計算をすることができる。(知) ○算数で学習した数の四則計算と関連付けて、数を負の数にまで拡張し、四則計算の方法を考察し表現することができる。(思) ○日常のいろいろな事象を正の数と負の数を用いてとらえようとしている。(主)
	2 文字の式 ・文字を使った式 ・文字式の計算	○簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。(知) ○文字を用いて数量の関係や法則を式で表すなど、具体的な場面で活用することができる。(思) ○文字を用いることの必要性や意味を理解しようとしたりしている。(主)
1 年 2 学 期	3 方程式 ・方程式 ・方程式の利用	○一元一次方程式の解き方を理解している。(知) ○一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。(思) ○一元一次方程式の良さに気づいて粘り強く考え、一元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。(主)
	4 変化と対応 ・関数 ・比例 ・反比例 ・比例、反比例の利用	○比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。(知) ○比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。(思) ○比例、反比例の変化や対応の特徴を表、式、グラフなどを用いて見いだそうとしている。(主)
	5 平面図形 ・直線と図形 ・移動と作図 ・円とおうぎ形	○角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。(知) ○図形の移動に着目し、移動前と移動後の二つの図形の関係について考察し表現することができる。(思) ○平面図形の対称性に着目することで見通しをもって作図したり、作図方法を具体的な場面で活用しようとしたりしている。(主)
1 年 3 学 期	6 空間図形 ・立体と空間図形 ・立体の体積と表面積	○柱体、錐体、球の表面積や体積の求め方を理解している。(知) ○立体図形の表面積や体積の求め方を見取図や展開図を用いて考察し表現することができる。(思) ○空間図形について、その見取図、展開図、投影図を用い、図形の各要素の位置関係を調べることを通して、論理的に考察しようとしたりしている。(主)
	7 データの活用 ・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率	○データを相対度数や累積相対度数を用いて整理することができる。(知) ○ヒストグラムなどを基にして、データの分布の傾向を読み取り表現することができる。(思) ○ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味を考えようとしている。(主)

＜第2学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	1 式の計算 ・式の計算 ・文字式の利用	○単項式の乗法と除法の計算をすることができる。(知) ○数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。(思) ○多項式の加法、減法の計算の方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。(主)
	2 連立方程式 ・連立方程式 ・連立方程式の利用	○連立方程式を加減法を用いて解くことができる。(知) ○連立方程式を具体的な場面で活用することができる。(思) ○加減法や代入法による連立方程式の解き方を考えようとしている。(主)
2 年 2 学 期	3 一次関数 ・一次関数とグラフ ・一次関数と方程式 ・一次関数の利用	○一次関数の関係を式に表すことができる。また、数を代入し、対応する値を求めることができる。(知) ○一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連付けて考察し表現することができる。(思) ○一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連付けて考えようとしている。(主)
	4 図形の調べ方 ・平行と合同 ・図形の性質の利用 ・証明	○対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。(知) ○多角形の内角の和や外角の和などを予想し、それが正しいことを考察し表現することができる。(思) ○多角形の内角の和や外角の和についての性質を見いだそうとしている。(主)
	5 図形の性質と証明 ・三角形 ・四角形 ・図形の性質と証明の利用	○平行四辺形の性質を理解している。(知) ○長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。(思) ○直角三角形の合同条件を見いだしたり、それを用いて図形の性質を証明したりしようとしている。(主)
2 年 3 学 期	6 場合の数と確率 ・場合の数と確率 ・確率の利用	○問題を解決するために、起こり得るすべての場合を求めたり、確率を求めたりすることができる。(知) ○起こりうるすべての場合を、樹形図や二次元の表などを用いて考察し表現することができる。(思) ○確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(主)
	7 箱ひげ図とデータの活用 ・箱ひげ図	○箱ひげ図をかいたり、四分位範囲を求めたりすることができる。(知) ○箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、表現することができる。(思) ○箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、表現しようとしている。(主)

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	1 式の展開と因数分解 ・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用	○展開と因数分解及び因数の意味を理解している。(知) ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。(思) ○文字を用いた式の必要性和意味を考えようとしている。(主)
	2 平方根 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用	○数を記号 $\sqrt{\quad}$ を用いて表すことのよさを理解し、正しく用いることができる。(知) ○1辺の長さが1mである正方形の対角線の長さなどが、どのような数で表されるのかを考察し表現することができる。(思) ○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。(主)
	3 二次方程式 ・二次方程式 ・二次方程式の利用	○解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。(知) ○因数分解や平方の形に変形することを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。(思) ○二次方程式の必要性和意味を考えようとしている。(主)
3 年 2 学 期	4 二次関数$y = ax^2$ ・関数とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数	○2乗に比例する関数が、 $y = ax^2$ という式で表されることを理解している。(知) ○関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだすことができる。(思) ○関数 $y = ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。(主)
	5 図形と相似 ・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量 ・相似の利用	○相似な三角形の対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。(知) ○三角形の相似条件を用いて、2つの三角形が相似であるかどうかを考察し表現することができる。(思) ○相似な図形の性質や三角形の相似条件の必要性和意味について考えようとしている。(主)
	6 円の性質 ・円周角と中心角 ・円の性質の利用	○円周角と中心角の関係の意味を理解している。(知) ○既習の図形の性質を利用して、円周角と中心角の関係について証明することができる。(思) ○円周角と中心角の関係の必要性和意味を考えようとしている。(主)
3 年 3 学 期	7 三平方の定理 ・直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理の利用	○三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。(知) ○直角三角形の3辺にできる正方形の面積の関係に着目し、三平方の定理を見いだすことができる。(思) ○三平方の定理の必要性和意味を考えようとしている。(主)
	8 標本調査とデータの活用 ・標本調査	○標本調査や全数調査の必要性和意味を理解している。(知) ○簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。(思) ○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(主)

理科

1 学習のねらい

学習のねらい	1年：【物質】の単元では、身のまわりの物質に関する学習を通して、物質のもつ基本的な性質の理解を深めさせるとともに、観察・実験などを行うために必要な基本的な技能、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【エネルギー】の単元では、光・音・力に関する基礎的・基本的な性質への理解を深めるとともに、規則性や関係性を調べる観察や実験における基礎的な操作や技能を身に付ける。 【生命】の単元では、身近な植物・動物についての観察を通して、生物の調べ方の基礎を学習するとともに、生物の体のつくりの特徴を理解し、共通点や相違点、多様性に気づき、生物の世界についての総合的な認識を深める。 【地球】の単元では、大地の成り立ちと変化に関する学習を通して、地表に見られる事物・現象と関連付けながら、絶えず活動し続ける地球の姿についての理解を深めるとともに、観察・実験などを行うための基本的な技能、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 2年：【物質】の単元では、化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、観察・実験などを行うために必要な基本的な技能、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 【エネルギー】の単元では、実験を通して電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら基本的な性質への理解を深めるとともに、規則性や関連性を見出して表現できる力を身に付ける。 【生命】の単元では、生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら理解を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【地球】の単元では、身近な気象の観察、実験などを通して、気象要素と天気の変化との関連に注目しながら、様々な現象への理解を深めるとともに、観察・実験などを行うための基本的な技能、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 3年：【エネルギー】の単元では、物体の運動とエネルギーについての観察、実験などを行い、力、圧力、仕事、エネルギーについて日常生活や社会と関連付けながら理解する。【粒子】の単元では、水溶液の電気的な性質、酸とアルカリ、イオンへのなりやすさについての観察、実験などを行い、水溶液の電気伝導性、中和反応、電池のしくみについて、イオンのモデルと関連付けて微視的に捉え理解する。 【生命】の単元では、生命の連続性についての観察、実験などを行い、生物の成長と殖え方の特徴や遺伝の規則性、及び長い時間の経過の中で生物は変化して多様な生物の種類が生じてきたことを見いだし理解する。【地球】の単元では、身近な天体の観察、実験などを行い、その観察記録や資料などを基に、地球の運動や太陽系の天体とその運動の様子を関連付けて理解する。 【環境】の単元では、観察、実験などを通して、エネルギー資源や物質を有効に利用することの重要性や、科学技術の発展の過程と人間生活への貢献についての認識を深める。また、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解するとともに、自然と人間との関わり方についての認識を深める。
使用教材	1年：未来にひろがるサイエンス1（啓林館） 理科の学習1（浜島書店） 積み上げ1年（明治図書） グラフィック理科資料集（新学社） 2年：未来へひろがるサイエンス2（啓林館） グラフィック理科資料集（新学社） 理科の学習2（浜島書店） 積み上げ2年（明治図書） 3年：未来へひろがるサイエンス3（啓林館） 学習整理（学宝社） 積み上げ3年（明治図書）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	- 測定器具を用いて、量を正確に測ることができる。 - 安全に配慮して器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。 - 計画的に観察・実験を行い、記録をまとめることができる。 - グラフ・表などを用い、正しく測定値を処理できる。 - 基本的な言葉の意味を説明することができる。 - 基本的な事象について、例をあげて説明することができる。 - 法則や規則性について、説明することができる。	- 観察や実験を行う状況 - 観察器具・実験器具を扱う状況 - 観察・実験レポートの内容の状況 - テスト（観察・実験・知識・理解の問題）の状況
思考・判断・表現	- 仮説を立て、それを解決するための実験方法を考え出すことができる。 - 観察・実験の結果から、規則性を見いだすことができる。 - 関連する2つの事柄について、その関係を説明することができる。 - 関連する事柄について、その共通点や違いを説明することができる。	- 観察・実験レポートの内容の状況 - テスト（思考問題）の状況 - 観察・実験での活動内容や授業中の発言内容の状況
主体的に学習に取り組む態度	- 自然に対して興味・関心をもつことができる。 - 自然の現象について疑問を持ったり、不思議に思ったりした点について調べようとする。 - 自分の考え・意見を発表することができる。	- 提出物の提出等の状況 - 授業での準備物の状況 - 授業中の発言、質問等の状況 - 授業のようす

3 学習方法についてのアドバイス

学校	- 教科書に出ている重要語句の意味をしっかりと理解し、使いこなそう。 - 実験器具の使い方をしっかりと把握しよう。 - 学習に対する好奇心や、疑問を大切にしよう。 - 自ら課題に気づき、方法を考え、観察・実験を行い、まとめ、表現しよう。
家庭	- 学習内容を日常生活とのかかわりでとらえる広い目をもとう。 - 授業で習ったところを問題集やプリントなどを使い復習しよう。テスト前には問題集を繰り返し使い復習しよう。 - テストで間違えた問題は復習しよう。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	【生命】 「いろいろな生物とその共通点」 植物の特徴と分類 動物の特徴と分類	・ルーペや顕微鏡、双眼実体顕微鏡を正しく使用し、スケッチすることができる。【知】 ・植物に興味を持ち、意欲的に調べようとする。【主】 ・観察記録をもとに、花のつくりの規則性や共通点と相違点を見だし表現できる。【思】 ・被子植物の花の基本的なつくりを理解している。【知】 ・種子植物、シダ植物、コケ植物の基本的なつくりを理解している。【知】 ・動物の分類に興味を持ち、分類について探究しようとしている。【主】 ・脊椎動物の体のしくみやふえ方、無脊椎動物の主な特徴について理解している。【知】
	【物質】 「身のまわりの物質」 いろいろな物質とその性質 いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化	・身のまわりの物質について興味を持ち、その性質や特徴について調べようとする。【主】 ・実験結果から物質を分類・区別することができその物質が何であるか推測できる。【思】 ・実験器具を正しく使い、実験を安全に行うことができる。【知】 ・物質の性質を適切に調べることができる。【知】 ・物質の性質や特徴について理解している。【知】 ・気体の発生方法や捕集方法、性質について理解している。【知】 ・物体の状態変化、融点、沸点について理解している。【知】 ・溶質、溶媒、飽和水溶液、溶解度、結晶、再結晶について理解している。【知】
	【エネルギー】 「光・音・力による現象」 光による現象 音による現象 力による現象	・光・音・力に関する現象について、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・実験結果をもとに、入射角、反射角、屈折角の関係、実像と虚像のできる条件を見いだすことができる。【思】 ・反射・屈折・凸レンズ・音・力の実験を行い、記録できる。【知】 ・光の進み方についての規則性を理解し、知識を身につけている。【知】 ・音について理解し、知識を身につけている。 ・力の種類と状態、力の表し方について理解し、知識を身につけている。【知】
1 年 3 学 期	【地球】 「活きている地球」 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地	・火山噴出物・火成岩・堆積岩・化石・地震のゆれ・地震の災害について、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・マグマの性質と火山の形・噴火の様子・噴出物との関係を推測できる。【思】 ・火山噴出物、鉱物、火成岩についてその特徴を理解している。【知】 ・堆積のしくみ、堆積岩の特徴を理解している。【知】 ・地震のゆれの特徴、強さや規模、地震の分布、プレートの動きについて理解している。【知】

＜第2学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	【物質】 化学変化と原子と分子 第1章 物質の成り立ち 第2章 物質の表し方 第3章 さまざまな化学変化 第4章 化学変化と物質の質量	・化学変化について、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・分解して生成した物質は元の物質とは異なることを理解することができる。【知】 ・物質は原子や分子からできていることを理解することができる。【知】 ・物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。【知】 ・2種類の物質を反応させ、反応前とは異なる物質が生成することを見出す。【思】 ・化学変化は化学式であらわすことができる。【思】 ・酸化、還元は酸素が関係する反応であることを理解することができる。【知】 ・化学変化によって熱の出入りが伴うことを理解することができる。【知】 ・反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見出すことができる。【思】 ・化学変化の際に、反応する物質の間には一定の関係があることを見出すことができる。【思】
	【生命】 生物の体のつくりとはたらき 第1章 生物の体をつくるもの 第2章 植物の体のつくりとはたらき 第3章 動物の体のつくりとはたらき 第4章 動物の行動のしくみ	・生物の体のつくりとはたらきについて、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・生物の体が細胞からできていること理解することができる。【知】 ・植物と動物の細胞のつくりの特徴を見出すことができる。【思】 ・光合成、呼吸、蒸散の働きを理解することができる。【知】 ・動物の体が必要な物質を取り入れ、運搬している仕組みを理解することができる。【知】 ・不要となった物質を排せつする仕組みを理解することができる。【知】 ・動物が外界の刺激に反応する仕組みを感覚器官、神経系、運動器官のつくりと関連付けて理解することができる。【知】
	【地球】 地球の大気と天気の変化 第1章 地球を取り巻く大気の様子 第2章 大気中の水の変化 第3章 天気の変化と大気の動き 第4章 大気の動きと日本の四季	・地球の大気と天気の変化について、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・気温、湿度、風向、気圧などを理解することができる。【知】 ・霧や雲の発生について気圧、気温、湿度の変化と関連付けて理解することができる。【思】 ・前線の通過に伴う天気の変化を暖気、寒気と関連付けて理解することができる。【思】 ・日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解することができる。【知】 ・気象現象がもたらす恵みと気象災害について理解することができる。【知】
2 年 3 学 期	【エネルギー】 電気とその利用 第1章 電流の性質 第2章 電流の正体 第3章 電流と磁界	・電気の性質とその利用について、興味を持って進んで調べようとする。【主】 ・回路を作り、電流や電圧を的確に測定できる。【知】 ・回路の各点に流れる電流と電圧の関係を見出すことができる。【思】 ・電流によって光や熱が発生することを知り、電力の違いによって、発生する熱や光の量に違いあることを見出すことができる。 ・静電気の特徴について理解することができる。【知】 ・磁界を磁力線で表すことができる【知】 ・磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを理解することができる。【知】 ・コイルや磁石を動かすと電流が得られることを見出すことができる【思】 ・直流と交流の違いを理解することができる。【知】

＜第3学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学期	【生命】 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	・生物の殖え方の共通点と相違点や、親と子の特徴の関係性を見いだして表現している。【思】 ・無性生殖について例をあげてその特徴を理解している。【知】 ・動物の有性生殖や被子植物の有性生殖について、受精から発生の過程を理解している。【知】 ・生物の成長するときの細胞の変化や細胞分裂の進み方について理解している。【知】 ・細胞分裂の観察を適切に行い、分裂している細胞を探し出し、その特徴をスケッチなどで記録している。【知】 ・生物の殖え方や体細胞分裂に興味を示し、進んで観察し、調べようとしている。【態】 ・親と子の染色体の数が同じに保たれるしくみを基に、減数分裂と体細胞分裂の相違点を考察している。【思】 ・遺伝子の受けつがれ方について無性生殖と有性生殖の違いを理解している。【知】 ・メンデルの遺伝の実験内容と実験結果の顕性形質と潜性形質の表れ方について理解している。【知】 ・遺伝子の伝わり方について遺伝子を記号に置き換え、顕性形質と潜性形質の表れ方を考察している。【思】 ・モデル実験の結果について考察・推論し、探究の過程を振り返って、実験方法や結果の関係を見いだして表現している。【思】 ・遺伝のモデル実験について、探究の過程を振り返り、遺伝や遺伝の規則性について理解を深めようとしている。【態】 ・生物は長い時間をかけて変化して多様な種類が生じたことについて、問題を見いだして表現している。【思】 ・脊椎動物の5つの仲間の共通する特徴について、進化と関連付けて考察している。【思】 ・進化の過程について、進化の証拠と関連付けて理解している。【知】 ・植物や動物の進化の流れを、身に付けた知識を基に表現している。【思】
	【物質】 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	・どのような水溶液が電流を通すか興味を示し、電流を通す水溶液に共通して観察されることを進んで調べようとしている。【主】 ・実験結果を基に、塩化銅水溶液中では、銅原子が電気を帯びた粒子になっていることを見いだして表現している。【思】
	2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	・原子がどのようにして陽イオンや陰イオンになるかそのしくみを理解している。【知】 ・原子が電気を帯びた粒子になっていることに興味を示し、原子が電気を帯びるしくみを進んで調べようとしている。【主】 ・硝酸銀水溶液と銅の反応に興味を示し、進んでその変化を調べようとしている。【主】 ・実験結果を基に、金属のイオンへのなりやすさに違いがあることについて考察している。【思】 ・電池をつくり、電気エネルギーを取り出す実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。【知】 ・電池のしくみを、イオンのでき方と関連付けて考察し、電極での変化を説明できる。【知】 ・いろいろな電池が日常生活で利用されていることに興味をもち、それぞれの電池の特徴について調べようとしている。【主】 ・身のまわりの酸性やアルカリ性の水溶液に興味を示し、どのようなものがあるか進んで調べようとしている。【主】 ・実験結果を基に、酸性の水溶液の共通した性質のもと水素イオンで、アルカリ性の水溶液の共通した性質のもと水酸化物イオンであることについて考察している。【思】 ・pH7が中性で、7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強いことを理解している。【知】 ・中和によって塩ができることを調べる実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。【知】 ・中和の様子や中和によってできる塩について、イオンのモデルと関連付けて考察している。【思】 ・中和による水溶液のpHの変化に興味を示し、進んで調べようとしている。【主】
3 年 2 学期	【地球】 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	・太陽の表面を観察するために必要な天体望遠鏡の基本操作、注意事項、記録の方法を身に付けている。【知】 ・観察結果を分析して解釈し、黒点の形の違いからわかることを見いだして表現している。【思】 ・太陽に関する事象・現象に進んで関わったり、観測をふり返ったりするなど、進んで科学的に探究しようとしている。【主】 ・惑星の特徴と表面のようすに注目しながら、太陽系の小天体は、それぞれの特徴ごとに分類できることを理解している。【知】 ・銀河系や銀河系外の特徴に注目しながら、銀河や恒星について理解している。【知】 ・透明半球を用いて太陽の動きを観察し、その結果を適切に記録している。【知】 ・透明半球につけられた点の記録を分析・解釈し、透明半球上の線が何を表すか、また動く速さはどうなっているかについて考察している。【思】 ・南中高度や昼間の長さが地軸の傾きによって変わることを理解している。【知】 ・透明半球に各方位の星の動きを記録した紙を貼り、全天の星の動きの記録として整理している。【知】

		・星の日周運動に関する事物・現象に進んで関わったり、観測をふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主】 ・四季を代表する星座について、同じ時刻であっても位置が日ごとに西へ移動することを理解するとともに、季節ごとに地球での星座の見え方が規則的に移り変わることを見いだして表現している。【思】 ・地球から見える月の形や位置の変化、及び日食・月食について、月の公転や、太陽・月・地球の位置関係と関連付けて理解している。【知】 ・月の動きと見え方の学習を基に、金星の見え方の変化について課題を設定し、仮説や計画を立案するとともに、モデル実験の結果を分析して解釈し、金星の見え方の変化が規則的に移り変わることを見いだし表現している。【思】
	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	・水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにはたらくことを理解している。【知】 ・探究の過程をふり返り、角度をもってはたらく2力とその合力の関係をみいだそうとしている。【主】 ・力の合成や合力の意味・求め方を理解している。また、力の分解や分力の意味・求め方を理解している。【知】 ・記録タイマーなどを使って、一定の力がはたらき続ける物体の運動のようすを調べる技能を身に付けている。【知】 ・記録テープを基に、一定の力がはたらき続けたときの台車の運動について考察している。【思】 ・物体に力がはたらかないときの運動について理解している。【知】 ・斜面上の物体の運動のようすについて、物体にはたらく力と関連付けて考察している。【思】 ・作用、反作用の法則について理解している。【知】 ・仕事の原理や仕事率について理解している。【知】 ・位置エネルギーや運動エネルギーについて理解している。【知】 ・力学的エネルギー保存の法則について理解している。【知】 ・エネルギーの有効利用のためには、利用できるエネルギーへの変換効率を高める工夫が必要であることを見いだして表現している。【思】 ・利用できないエネルギーに変換された分も含めて、エネルギーの総量は保存されることを見いだして表現している。【思】 ・熱の伝わり方として、伝導や対流、放射を理解している。【知】 ・いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解している。【知】 ・エネルギーを利用していくときの問題点について考察している。【思】 ・放射線の種類や性質、利用方法および、人体への影響を理解している。【知】 ・エネルギー資源やエネルギー利用の問題点、その利用と課題について考察している。【思】
3年3学期	【環境】 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	・食物連鎖における生物のつながりや、数量的な関係・つり合いの変化について理解している。また、食物網について理解している。【知】 ・自然界の炭素などの物質の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連付けて考察している。【思】 ・身のまわりのさまざまな衣服が、種類の異なる繊維からできていることを理解している。【知】 ・プラスチックの性質を調べる実験を、正しく安全に行う技能を身に付けている。【知】 ・習得した知識・技能を基に、プラスチックの利用や廃棄とリサイクルについて、問題を見いだして課題を設定しようとしている。【主】 ・交通輸送の手段の発展を、生活や社会の変遷と関連付けながら、科学技術の発展として理解している。【知】 ・科学技術の発展による問題と貢献とを認識して、関連付けて捉え考察するとともに、将来の社会について科学的に考察している。【思】 ・最新の科学技術について進んで調べ、未来の社会がどのように変わっていくかを科学的に探究し、自分の考えを発表しようとしている。【態】 ・人間の生活が身近な自然環境にどのような影響を与えているか適切に観察、実験、調査し、その結果を記録している。【知】 ・それぞれの自然災害について、その特徴や原因を理解するとともに、身近な自然災害について進んで調査の計画を立てようとしている。【主】 ・地域の自然の特徴や過去の自然災害、及び災害に対する取り組みについて、多様な情報を活用し、整理している。【知】 ・得られた結果を分析して解釈し、身近な自然の特徴と過去に発生した自然災害を科学的に考察して表現している。【思】 ・人間の活動が、地球規模で自然環境へ影響をおよぼしていることを理解し、自然環境を保全することの重要性を認識している。【知】 ・循環型社会など、これからの社会において持続可能な社会をつくることが求められていることを理解している。【知】

社会科

1 学習のねらい

学習のねらい	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の基礎を育成することを目指します。 ＊中学校社会科は、「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の3分野から成り立っています。1年生と2年生では、「地理的分野」「歴史的分野」を並行して学習し、3年生では、1学期中に「歴史的分野」を最後まで学習し、そのあと「公民的分野」を学習します。
使用教材	1年：新編 新しい社会 地理（東京書籍）、新編 新しい社会 歴史（東京書籍）、よくわかる社会の学習 地理Ⅰ（明治図書）、よくわかる社会の学習 歴史Ⅰ（明治図書）、未来へつなぐ歴史資料集（新学社）、中学校社会科地図（帝国書院） 2年：新編 新しい社会 地理（東京書籍）、新編 新しい社会 歴史（東京書籍）、よくわかる社会の学習 地理Ⅱ（明治図書）、よくわかる社会の学習 歴史Ⅱ・Ⅲ（明治図書）、学び考える歴史（浜島書店）、中学校社会科地図（帝国書院） 3年：新編 新しい社会 歴史（東京書籍）、新編 新しい社会 公民（東京書籍）、学び考える歴史 埼玉県版（浜島書店）、よくわかる社会の学習 公民（明治図書）、新しい公民 埼玉県版（浜島書店）、中学校社会科地図（帝国書院）、埼玉そっくり4社会

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	「我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。」	・定期テスト ・ノート ・プリントへの取り組み ・レポート作成等 ・小テスト等
思考・判断・表現	「社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。」	・定期テスト ・ノート ・プリントへの取り組み ・レポート作成等 ・発表等授業中の様子
主体的に学習に取り組む態度	「社会的事象について、国家及び社会の担い手としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。」	・定期テスト ・ノート ・プリントへの取り組み ・レポート作成等 ・授業態度、発言意欲

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・先生の話や友達の意見をしっかりと聞くようにしましょう。 ・忘れ物がないようにしましょう。 ・積極的に発言しましょう。
家庭	・提出物を期日までに提出しましょう。 ・ノートを素早く、丁寧にとりましょう。 ・ノート、ファイルを見返しながら、授業の復習をしましょう。 ・授業のプリントの教科書のページと見比べながら、ワークを計画的に進めるようにしましょう。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	【地理】 第1編 世界と日本の姿 ・世界の姿 ・日本の姿 第2編 世界のさまざまな地域 ・人々の生活と環境 【歴史】 第1章 歴史へのとびら ・歴史をとらえる見方、考え方 ・身近な地域の歴史 第2章 古代までの日本 ・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流	● 世界の地域区分や国境、主な国の名称や位置について、地球儀や世界地図などを読み取り、地球上の位置を緯度と経度で示したり、地図上に描き込んだりすることができる。【知】 ● 同じ地域における過去と現在の生活の比較から、その変容がどのような条件によるのかを考察し、その過程や結果をまとめ、発表などで適切に表現している。【思】 ● 身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対して見通しをもち、課題の解決に向けて学習しようとしている。【主】
1 年 2 学 期	【歴史】 第2章 古代までの日本 ・古代国家の歩みと東アジア世界 【地理】 第2編 世界のさまざまな地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	● 変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。【知】 ● 仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察し表現している。【思】 ● 自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、発展と移民との関連に関心をもち、設定された探究課題を主体的に追究している。【主】
1 年 3 学 期	【歴史】 第3章 中世の日本 ・武士の政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開	● 農業をはじめとする諸産業が発達し、都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。【知】 ● 鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを、武士や民衆の動きと関連させて多面的・多角的に考察し、表現している。【思】 ● モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界での交流に関する課題を意欲的に追究している。【主】

<第2学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	【歴史】 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2節 江戸幕府の成立と対外政策 3節 産業の発達と幕府政治の動き	- 江戸時代の特色について、大名統制、身分統制、対外政策などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。【思】 - 身近な地域の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し、調査に取り組んでいる。【主】
2 年 2 学 期	【地理】 第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色と地域区分 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方	- 方位、縮尺、実際の距離の計測、地図記号、等高線を読み取り、土地の高低や土地利用の様子を理解できている。【知・思】 - 地図を読み取る楽しさを感じ、積極的に授業に取り組む姿勢がみられる【主】 - 日本の自然環境、人口、資源・エネルギー産業、交通通信の特色を理解することができている。【知】 - 日本の諸地域について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。【知】
2 年 3 学 期	3節 近畿地方 4節 中部地方 5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新	- 日本の諸地域の産業の地域的な違いについて、自然環境や他の地域との結び付きに着目して考察して、各地域の特色を捉えている。【思】 - 持続可能な社会の構築に関心をもち、身近な地域や国内外の環境問題や環境保全に関心をもっている。【主】 - 明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子を理解している。【知】 - 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定について、立憲制の国家が成立して、議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりを理解している。【思】 - 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、主体的に追究しようとしている。【主】

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	【歴史】 第5章 開国と近代日本の歩み ・欧米列強の侵略と条約の改正 ・日清戦争 ・日露戦争 ・韓国と中国 ・産業革命の進展 ・近代文化の形成 第6章 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界 ・戦後日本の発展と国際社会 ・新たな時代の日本と世界 【公民】 第1章 現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	●二度の世界大戦の概要を、原因・経過・結果から理解し、その知識を身に付けている。【知】 ●新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を、占領下の諸政策や国民の苦難と関連させながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 【思】 ●自分が社会集団の中で生活していることに気付き、物事の決定の仕方や決まりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。【主】
3 年 2 学 期	【公民】 第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 第3章 現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち 第4章 私たちの暮らしと経済 ・消費生活と市場経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会	●国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付き、望ましい政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。【思】 ●国会・内閣・裁判所の仕組みと働き、議院内閣制を中心とする三権分立の仕組みとその意義について理解し、その知識を身に付けている。【知】 ●国民の生活と政府の役割について、課題解決学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際に学習を振り返り、粘り強く取り組んでいる。【主】
3 年 3 学 期	【公民】 第5章 地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本 終章 より良い社会を目指して	●国際社会の諸課題と解決に向けての取り組みについて理解するとともに、解決には経済的・技術的協力が大切であることに気付き、その知識を身に付けている。【知】

第 1 学年 グローバル・スタディ 科

1 学習のねらい

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。 【コミュニケーション能力のGOAL】 ○相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。 ○日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。
使用教材	Sunshine English Course 1（開隆堂）、新英語のワーク 1（明治図書） 英語パーフェクトノート（学宝社）、聞きトレ（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についている。	・定期テスト ・単語テストなどの小テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・英作文等 ・リスニングテスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・観察（授業態度、課題に取り組む姿勢） ・ノート、ワークなどの提出物 ・定期テスト ・単語テストなどの小テスト ・パフォーマンステスト ・英作文等

3 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	○Get Ready ・聞き取った情報を参考に、好きな食べ物や行きたい国などについて、話したり書いたりする。 - また、友だちとの対話や先生へのインタビューを通して、即興でやり取りをする。 ○友達を作ろう ・自分の好みなどについて、紹介したいことを話したり、相手からの質問に答えたり、相手の好みについて質問したりする。 ○1－Bの生徒たち ・学級の友だちについて知りたいことを整理して質問をしたり、質問に答えたりする。 ○タレントショーを開こう ・自分ができることやできないことについての事実を、既習言語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ○Let's Enjoy Japanese Culture. ・海外の人々に日本のことを知ってもらうために日本の文化について紹介する。	・be 動詞を用いた文などを活用して、自分の好みなどについて伝えたり、質問に答えたりしている。【知・技】 ・相手の興味深い情報を得るために、学級の友だちについて知りたいことを整理し、質問したり、質問に答えたりしている。【思・判・表】 ・学級の友だちについて、知りたいことを整理し、一般動詞を用いた文を活用して、質問したり、質問に答えたりする技能を身に付けている。【知・技】 ・相手の興味深い情報を得るために、相手のことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて応答しようとしている。【主体】 ・日本文化の紹介や自分の考えを三人称単数の主語を用いた文を活用して話す技能を身に付けている。【知・技】
1 年 2 学 期	○The Junior Safety Patrol ・アメリカにおけるジュニア・セーフティ・パトロールの仕組みを理解し、自分の身の周りにある役割と比べ、既習事項を使って表現する。 ○The Way to School ・世界の状況と比較し、安全に登校できる幸せや勉強できる機会について考え、新しい言語材料を用いて、自分の考えを伝える。 ○Research on Australia ・オーストラリアに関する資料を理解し、まとまった情報に関する自分の考えを表現する。 ○The Year-End Events ・日本文化について自分の考えや気持ちなどを表現する。	・外国の特色ある文化を伝えるために、聞き手にわかりやすく話している。【思・判・表】 ・調べたことや理解したことをに紹介するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。【思・判・表】
1 年 3 学 期	○A Trip to Finland ・フィンランドについての特色を理解し、まとめ、その魅力を相手に伝える。 ○Grandma Baba's Warming Ideas! ・登場人物の心情や物語の背景等について考察し、個人の考えをグループで話し合いをすることができる。	・一般動詞の過去形を使った文の構造の理解を基に、自分の過去の経験や考えを書いて伝える技能を身につけている。【知・技】 ・登場人物の心情や物語の背景等について考察し、発表している。【思・判・表】 ・登場人物の心情や物語の背景等について考察した内容を相手にわかりやすく伝えようとしている。【主体】

4 学習方法についてのアドバイス

学 校	・授業での先生の指示や説明、友だちの発言をよく聞く。 ・授業を通して自分の考えを深める努力をする。 ・自分でよく考えながら活動に取り組む。 ・発音練習、音読練習を積極的にする。 ・忘れ物をしない。 ・提出物の期日を守る。
家 庭	・単語練習をくり返すする。 ・基本文をくり返し練習する。 ・ワークや提出物などの課題を進める。 ・教科書を音読する。 ・日本の文化、外国の文化に積極的に触れる。

第 2 学年 グローバル・スタディ 科

1 学習のねらい

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。 【コミュニケーション能力のGOAL】 ○相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。 ○日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。
使用教材	Sunshine English Course 2（開隆堂）、めきめき English（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についている。	・定期テスト ・単語テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・定期テスト ・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・観察（授業態度、課題に取り組む姿勢） ・ノート、ワークなどの提出物 ・定期テスト ・単語テスト ・パフォーマンステスト

3 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	○進級おめでとう ・グローバル・スタディ科の授業における約束を確認し、新しいクラスメートのことを知るためのやりとりを行う。 ○Making New School Trip Plans ・生徒は旅行会社に勤務をしており、市内の中学生の宿泊学習の新しい行き先や何を活動するかなどについて考え、ミーティングで話し合ったり意見を交換したりする。 ○Let's Make the Sports Event Successful ・「ニュージーランドからやってきた留学生とスポーツを通じて親交を深める」というテーマで自分の意見を言ったり相手の意見を聞いたりする。 ○International Food Festival ・生徒は屋台で各国の食べ物を PR するプレゼンテーションに取り組む。また、客側として自分が食べてみたい食べ物を紹介して、一番おいしそうな食べ物を決定する。	・未来形(be going to、will)や接続詞(When～、If～)の特徴や決まりを理解している。【知・技】 ・日本らしい体験ができる救はく体験学習先を決定するために、体験学習プランについて、根拠をもって論理的に自分の意見を伝えている。【思・判・表】 ・接続詞 if や when の文の特徴や決まりを理解している。【知・技】 ・ニュージーランドからやってきた留学生とスポーツを通じて親交を深めるために、提案するスポーツについて、自分の意見を伝えあおうとしている。【主体】
2 年 2 学 期	○Leave Only Footprints ・域住民によりよい提案をするために、身近な環境問題の改善策について、意見を述べたり、相手の意見を聞いて情報を整理し、内容に対して応答したりする。 ○Work Experience ・生徒が中学生の国際会議に出席する場面で、複数のスピーチを聞く。職業体験での経験や、将来の夢について発表しているスピーチを、メモをとりながら聞いたあと、スピーカーに対し、質問、アドバイス、スピーチから学んだことなどをフィードバックする。「聞き手」に焦点を当てたパフォーマンスとなる。 ○High-Tech Nature ・日本が抱える環境問題に対する実現可能な取組を提案するために、複数の案を比較しながら、意見を述べる。	・疑問詞＋不定詞、look＋形容詞、SVOO の文の特徴やきまりを理解している。【知・技】 ・多角的な視点から将来の目標について考えをまとめるために、職業体験で学んだことや感じたことを整理して伝えている。【思・判・表】 ・スピーカーのスピーチにフィードバックをするよう、スピーカーの職業体験や将来の夢について、内容をメモで整理し、簡単な語句や文を用いて伝えている。【思・判・表】 ・いろいろなものを比較する表現の特徴や決まりを理解している。【知・技】
2 年 3 学 期	○Which Do You Like Better, an Aquarium or a Zoo? ・体験入学生が週末に行く場所を決めることができるように、複数のおすすめの間所を比較しながら、その場所の特徴や魅力について、意見を伝え合う。 ○As a Billboard for Japan ・ニュージーランドの生徒に日本の魅力が伝わるように、日本の歴史や日本に行ったときに体験すべき文化や行事などについて、自分の体験や調べた情報などを整理し、紹介する。	・be 動詞＋過去分詞を用いる受け身の文の特徴やきまりを理解している。【知・技】 ・体験入学生が週末に行く場所を決めることができるように、複数のおすすめの間所を比較しながら、その場所の特徴や魅力について、意見を伝え合っている。【思・判・表】

4 学習方法についてのアドバイス

学 校	・忘れ物をしない。 ・提出物の期日を守る。 ・授業での先生の指示や説明、友だちの発言をよく聞く。 ・授業を通して自分の考えを深める努力をする。 ・自分でよく考えながら活動に取り組む。 ・発音練習、音読練習を積極的にする。
家 庭	・単語練習をくり返しする。 ・基本文をくり返し練習する。 ・ワークや提出物などの課題を進める。 ・教科書を音読する。 ・日本の文化、外国の文化に積極的に触れる。

第 3 学年 グローバル・スタディ 科

1 学習のねらい

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。 【コミュニケーション能力のGOAL】 ○相手（話し手、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。 ○日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。
使用教材	Sunshine English Course 3（開隆堂）、新英語のワーク 3（明治図書）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についている。	・定期テスト ・単語テストなどの小テスト ・音読テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・英作文等
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・観察（授業態度、課題に取り組む姿勢） ・ノート、ワークなどの提出物 ・定期テスト ・単語テストなどの小テスト ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・英作文等

3 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	○Japanese Bentos Are Interesting! ・日本の弁当文化について、インドの弁当配達サービスについて知り、生徒は、自分で選んだトピックに沿って調べスピーチをする。 ○Good Night, Sleep Tight. ・睡眠が生活に与える影響について話し合い、健康のためにやっていること、および習慣についてインタビューする。また、健康のために委員会として、学校のためにできることをディスカッションする。 ○Hot Sport Today. ・バスケットボールの成り立ちや日本での人気について考え、そして日本で人気のスポーツについて紹介をすることである。生徒は自分たちで選んだトピックについて調べ、スピーチを書きグループ内で紹介をする。	・ask[tell/want]～(人)to…, It is ～(for 人)to…の意味や働きを理解している。【知・技】 ・日本や海外の弁当文化、外国の食べ物について、ディスカッション形式で情報や自分の考え、意見などを整理して伝え、相手からの質問に答えたりしている。【思・判・表】 ・間接疑問文の意味や働きを理解している。【知・技】 ・健康への取組や生活習慣について、インタビューで得た情報や自分の考えを整理する。【思・判・表】 ・主語＋動詞＋目的語＋補語の文構造を理解している。【知・技】 ・日本で人気のスポーツの歴史について伝えるために、読み手を意識しながら、スポーツについて、まとまりのあるスピーチの原稿を書くことができる。【思・判・表】
3 年 2 学 期	○Sign Languages, Not Just Gestures! 生徒が日本をテーマにしたディベートの国際大会に参加することを目標とし、それにむけて、まず、日本特有の遊具や祝日、建造物などをグループで調べ、クラスの代表をグループディベートで決める。 ○The Story of Chocolate 生徒がディベート大会に参加する。ディベートは3人グループの中で1人が審査員、他の2人がディベート対戦を行う形とする。生徒がなじみ深い食べ物について得た情報を論理的に相手に主張する。 ○The Great Pacific Garbage Patch 2030年までに達成すべき17つの国際社会共通の目標としてSDGsがある。将来の日本を担うものとして、各グループでSDGsについて日本が取り組むことのできる目標を1つ選び、他のチームとディベートを行う。 ○Robots Can Improve Quality of Life 「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というタイトルで英語のスピーチを書き、その願いをなぜ叶えたいのかを文の構成を考えながら相手に分かるように説明していく。	・現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法を用いた文の構造を理解している。【知・技】 ・日本文化について、事実や自分の考えを整理して、論理的で説得力のある考えや意見などを伝えたり、相手の意見に答えたりしている。【思・判・表】 ・関係代名詞の表現を理解している。【知・技】 ・食べ物の歴史について、事実や自分の考え、理由などを整理して伝えている。【思・判・表】 ・関係代名詞の目的格（which/ that/ 省略）を用いた文の構造を理解している。【知・技】 ・自分の考え方や意見が伝わるように、SDGsに関するディベートにおいて、国際会議で提案する日本の取組や自分の考えを即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。【思・判・表】 ・仮定法過去および接続詞の特徴やきまりを理解している。 ・自分の考えていることやその理由などを、仮定法過去や接続詞などを用いて話す技能を身に付けている。【知・技】
3 年 3 学 期	○Malala's Voice for the Future 「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というタイトルで英語のスピーチを書き、その願いをなぜ叶えたいのかを文の構成を考えながら相手に分かるように説明していく。 ○Further Reading	・文章を客観的に読み理解するために必要な語句や表現、文法事項を理解している。【知・技】 ・物語や説明文などを読んで、自分のことや考え、知りたいことなどを書こうとしている。【主体】

4 学習方法についてのアドバイス

学 校	・忘れ物をしない。 ・提出物の期日を守る。 ・授業での先生の指示や説明、友だちの発言をよく聞く。 ・授業を通して自分の考えを深める努力をする。 ・自分でよく考えながら活動に取り組む。 ・発音練習、音読練習を積極的にする。
家 庭	・単語練習をくり返す。 ・基本文をくり返し練習する。 ・ワークや提出物などの課題を進める。 ・教科書を音読する。 ・日本の文化、外国の文化に積極的に触れる。

音楽科

1 学習のねらい

学習のねらい	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	1年：音楽のおくりもの1、器楽 コーラスステージ 2年：音楽のおくりもの2・3上、2・3下、器楽 キミウタ 3年：音楽のおくりもの2・3上、2・3下、器楽 キミウタ

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の知識・技能を身に付けているのか。	実技テスト等、ワークシート、活動の様子、自己評価カード等
思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるのか。	実技テスト等、ワークシート、活動の様子、自己評価カード等
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を育んでいるのか。	実技テスト等、ワークシート、活動の様子、自己評価カード等

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・授業にひたむきに取り組む。ひたむきに歌い、ひたむきに聴く。 ・音楽と向き合い、どんな思いが込められているのかを発見しようという気持ちで取り組む。 ・気付いたことや感じたことを言葉にし、記述を積み重ねる。
家庭	・日常に溢れている様々な音や音楽に耳を傾け、興味を持つようにする。 ・音楽から感じたことを様々な言葉にして表現することを意識する。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

＜第1学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学期	【響きのある歌声で歌おう】《歌唱》 ・「校歌」「空色の日々」 【弦楽器の音色に親しみながら、曲想を味わおう】《鑑賞》 ・「春」第一楽章 【日本語の抑揚を活かした旋律をつくろう】《創作》 【曲想を感じ取り、形式を活かして表現を工夫しよう】《歌唱》 ・「夏の思い出」等 【民謡の特徴を理解し、声の出し方を工夫して歌おう】《歌唱》	《歌唱》 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【知】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えて鑑賞し、歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、歌詞の内容や曲想、声部の役割や響き、音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《器楽》 曲想と音楽の構造との関わりや体を使った音色や響きとの関わりについて理解している。【知】
1 年 2 学期	【混声合唱の響きを味わおう】《歌唱》 ・クラスで選択した合唱曲 【構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくろう】《創作》 【リズムの重なるの楽しさを味わおう】《器楽》 【ギターの奏法を身に付け、演奏を楽しもう】《器楽》	楽器の音色や響きと奏法の関わりを理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。【知】 速度、旋律、音色、リズム、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【思】 楽器の音色や響きと奏法、曲の構成に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《創作》 音のつながり方の特徴について理解している。【知】 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。【知】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思】 日本語の抑揚や言葉のリズムを生かした音のつながり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】 構成や言葉の重ね方を工夫してイメージに合った音楽をつくる活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《鑑賞》 曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。【知】 音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思】 曲想と音楽の構成との関わりや、弦楽器の豊かな表現、演奏者の多様な表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴く学習に取り組もうとしている。【主】 我が国に伝わる民謡の特徴や、人々の暮らしとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【主】
1 年 3 学期	【音楽の特徴を捉えながら、聴き深めよう】《鑑賞》 ・「魔王」 【箏の音色を味わいながら、基本的な奏法を身に付けよう】《器楽》 ・「さくらさくら」 【歌詞の表す心情を感じ取り、気持ちを込めて合唱しよう】《歌唱》 ・「旅立ちの日に」	音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思】 日本語の抑揚や言葉のリズムを生かした音のつながり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】 構成や言葉の重ね方を工夫してイメージに合った音楽をつくる活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《鑑賞》 曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。【知】 音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思】 曲想と音楽の構成との関わりや、弦楽器の豊かな表現、演奏者の多様な表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に聴く学習に取り組もうとしている。【主】 我が国に伝わる民謡の特徴や、人々の暮らしとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【主】

＜第2学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	【歌詞の内容を味わい、表現豊かに歌おう】《歌唱》 ・「浜辺の歌」 【音楽の仕組みを理解して聴こう】《鑑賞》 ・「交響曲第5番」 ・「展覧会の絵」 【リズムの違いを感じながらリズムパターンをつくろう】《創作》	《歌唱》 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【知】 【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【知】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えて鑑賞し、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思】
2 年 2 学 期	【混声合唱の響きを味わおう】《歌唱》 ・クラスで選択した合唱曲 【雅楽の多様な表現を鑑賞しよう】《鑑賞》 【ギターの奏法を身に付け、演奏を楽しもう】《器楽》 ・「ふるさと」等	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、歌詞の内容や曲想、声部の役割や響き、音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《器楽》 曲想と音楽の構造との関わりや体を使った音色や響きとの関わりについて理解している。【知】 【知】 楽器の音色や響きと奏法の関わりを理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。【知】 速度、旋律、音色、リズム、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【思】
2 年 3 学 期	【曲想を感じ取り、形式を活かして表現を工夫しよう】《歌唱》 【平調子の特徴を生かして音楽をつくろう】《創作・器楽》 【構成をとらえて鑑賞しよう】《鑑賞》 【曲想を味わいながら、気持ちを込めて合唱しよう】《歌唱》 ・「旅立ちの日に」、 「式歌」	楽器の音色や響きと奏法、曲の構成に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《創作》 平調子の響きが生み出す雰囲気や音のつながり方、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。【知】 【知】 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。【知】 リズム、旋律、構成、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思】 【思】 平調子の響きやリズム、構成の違いによって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《鑑賞》 曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、各楽器の音色や響きなどについて理解している。【知】 【知】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思】 【思】 曲想と音楽の構成との関わりや、文化・歴史的背景や楽器の音色や各楽器との関わり方、旋律やリズムなどから生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【主】

＜第3学年＞

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
3 年 1 学 期 【歌詞の内容を理解し、ふさわしい歌い方を考え、工夫しよう】《歌唱》 ・「花」、「校歌」 学年合唱曲 【日本の伝統芸能に親しもう】《鑑賞》 ・「能」	《歌唱》 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。【知】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えて鑑賞し、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【思】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、歌詞の内容や曲想、声部の役割や響き、音楽の構造に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【主】
3 年 2 学 期 【混声合唱の響きを味わおう】《歌唱》 ・クラスで選択した合唱曲 【箏の演奏を深めよう】《器楽》 ・「さくらさくら」 【構成を工夫して音楽をつくろう】 《創作》 ・「さくらさくら」の前奏、後奏をつくろう 【総合芸術の豊かさを味わおう】《鑑賞》 ・「アイーダ」	《器楽》 曲想と音楽の構造との関わりや体を使った音色や響きとの関わりについて理解している。【知】 楽器の音色や響きと奏法の関わりを理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能や全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。【知】 速度、旋律、音色、リズム、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【思】 楽器の音色や響きと奏法、曲の構成に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。【主】 《創作》 音のつながり方、言葉の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。【知】 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。【知】 音色、リズム、旋律、構成、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思】 リズム、言葉の抑揚や旋律との関係や全体の構成によって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【主】
3 年 3 学 期 【曲想を味わいながら気持ちを込めて合唱しよう】《歌唱》 ・「旅立ちの日に」、「式歌」	《鑑賞》 曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、各楽器の音色や響きなどについて理解している。【知】 音色、速度、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思】 曲想と音楽の構成との関わりや、文化・歴史的背景や楽器の音色や各楽器との関わり方、旋律やリズムなどから生み出される雰囲気や表情などの変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【主】

美術科

1 学習のねらい

学習のねらい	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力を育てる。
使用教材	教科書：美術（日本文教出版） 副教材：美術資料（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	・プリント ・作品 ・授業中の様子
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・プリント ・作品 ・学習カード
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業中の様子 （態度、行動の様子や、発言などの内容） ・学習カード

3 学習方法についてのアドバイス

学 校	・材料、用具の忘れ物をしない。作品の提出期限を守ろう。 ・材料、用具、作品は大切に扱おう。 ・授業に集中し、毎時間の制作計画や目標、ポイントをいつも考えて制作しよう。
家 庭	・身近にあるものを美しい、すてきだなと感じる気持ちを大切にしよう。 ・いろいろな作品やデザインに親しもう。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
		【知】知・技 【思】思考・判断・表現 【主】主体的に学習に取り組む態度
1 年 1 学 期	・オリエンテーション ・美術家は語る ・図画工作から美術へ ・レタリングで表そう ・木彫「コースター」制作	◇絵画・彫刻・彫塑 ・量感、空間、バランスを考えて作品を表現することができる【知】 ・形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している【知】 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している【知】 ・形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている【思】 ・創造活動の喜びを味わい、構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている【主】
1 年 2 学 期	・色彩演習 ・自然物や人工物からの構成「ようこそ私の世界へ」 ・西洋絵画の見方	◇デザイン・工芸 ・色や形の構成を考えて作品を表現することができる【知】 ・形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している【知】 ・材料や用具の使い方や生かし方を理解し、手順や意図を考えて表している【知】 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている【思】 ・創造活動の喜びを味わい、構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている【主】
1 年 3 学 期	・オリジナル仮面「タジマスカレード」制作	◇鑑賞 ・作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げ、友達や自分の作品のよさを感じ取ることができる【思】 ・作家や作品に親しみ、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる活動に取り組もうとしている【主】

＜第2学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	・「表現力育成」 絵文字のデザイン	◇絵画・彫刻 ・素材の特色を理解し、自分らしい表現をすることができる【知】 ・材料をよく理解し、用具を適切に使うことができる【知】 ・表したいものやイメージを基に、形、色、構成などの効果を考え、心豊かに構想を練ることができる【思】
2 年 2 学 期	「粘土で和菓子作り」	・テーマを自分で考え、スケッチなどを基に想像力を働かせ十分な構想を練ることができる【主】 ◇デザイン・工芸 ・用途や機能を考えて、十分な構想を練ることができる【知】
2 年 3 学 期	・「幾何学木彫」	・用具の使い方を工夫し、効果的に表現することができる【知】 ・素材の特性を基に、発想や構想を十分に練ることができる【思】 ・デザインの表現や効果を考え、構成力を一層伸ばすことができる【思】 ・形、色、質感の特徴や美しさを感じ取り、見通しを持って表現活動に取り組むことができる【主】 ◇鑑賞 ・作者の意図や表現の工夫、作品の背景を理解し、よさや美しさを味わうことができる【思】 ・美術や日本文化の理解を深め、創造への関心を高めることができる【主】

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	・木彫「なべ敷き」	◇絵画・彫刻 ・材料の特性や質感、用具の生かし方などを総合的に考え、効果的に表現することを理解している【知】 ・素材や手順をよく理解し、表現方法を工夫し、用具を効果的に使うことができる【知】 ・素材の特性や効果を基に自分らしく表現しようと構想を練っている【思】 ・創造活動の喜びを味わい、主体的に材料の特性や機能性を活かしてつくることを考え、見通しを持ってより創造的な表現を目指すための学習活動に取り組もうとしている【主】
3 年 2 学 期	・「スクラッチ」	◇デザイン・工芸 ・素材の用途や機能を考えて、十分な構想を練ることができる【知】 ・用具の使い方を工夫し、効果的に表現することができる【知】 ・素材の特性や効果を考え、発想や構想を十分に練ることができる【思】 ・創造活動の喜びを味わい、決められた素材や形の中に美しさを引き出す形を求め、根気よく表現活動に取り組むことができる【主】
3 年 3 学 期	・「ペーパークラフト」	◇鑑賞 ・作者の意図や表現の工夫、作品の背景を理解し、よさや美しさを味わうことができる【思】 ・美術文化の理解を深め、創造への関心を高めることができる【主】

保健体育科

1 学習のねらい

学習のねらい	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
使用教材	1年：新版中学体育実技（学研） 保健体育（東京書籍） 2年：新版中学体育実技（学研） 保健体育（東京書籍） 3年：新版中学体育実技（学研） 新しい保健体育（東京書籍）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識及び技能	・上手さや速さ等を一定の基準に照らし合わせ、評価する項目ですが、個人内評価（その生徒本人の成長や伸びがどの位あったか）も大切にしています。 ・専門性を持っている種目で、一般的によいプレーよりも、良いお手本や周囲への指導等が評価の対象となります。 ・運動の学び方、種目の特性や競技の仕方、安全や健康に関する知識や理解等についても【思考・判断力】と同様に考えて下さい。 ・学習の深まり等は、学習ノート（カード）で評価しますが、レポートに替えることもあります。授業で学んだ内容は、定期テストで理解度を評価します。	・定期テスト ・学習カードやプリント ・ワークシート ・授業の様子 ・実技テスト、新体力テスト、記録会等
思考力、判断力、表現力等	・必要な課題を考え、選び、工夫する力、健康や安全を科学的に考える力等について評価します。 ・単元ごとに使用する学習カードに加え、授業中の教師による観察で評価します。 ・良い意見や考えをノートにしっかりと記してあれば、後からでも良さや伸びを確認することで評価します。 ・提出期限には必ず提出しましょう。カード未提出は全単元共通の最低点となります。特に、単元終了時には注意して下さい。	・授業の様子（行動、発言、練習内容、課題に合った練習方法等） ・学習カードやプリントへの記入内容。
学びに向かう力、人間性等	・チームやペア学習、個に応じた課題に対して、積極的に取り組み、仲間の考えを受け入れる態度を評価します。 ・頑張る気持ちを評価する項目ですが、授業の準備ができていなく、忘れ物をする事により授業が遅れてしまうことや、服装がだらしない等もこの項目で評価します。 ・ケガや病気などを含めて、欠席や見学等が多くなってしまうなど、健康・安全面での評価となります。 ・「頑張る」とは、健康で安全に、元気良く皆と協力し、清々しい姿で頑張ることであり、積極的な行動や声かけ発声などで評価します。	・授業中の様子（態度、行動、動作、マナー、発言、意見、提出物、忘れ物等） ・学習カード、ノート ・ワークシート ・仲間への声かけや発声 ・定期テスト

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・学習カード等の提出物に関しては、授業における重要ポイント等を記載し、期日内に提出をすること。 ・見学・欠席なく、授業に参加することも体調管理という部分を考慮すること。
家庭	・事前に見学がわかっている場合は、生徒手帳に理由を書き、押印をし、授業担当に提出。記入は、保護者が行い、お子様の体調管理の把握をお願いします。 ・授業の内容によっては、朝に健康観察と保護者の押印が必要となる領域がありますので、健康観察カードの記入の協力をお願いします。（学校でもブリーフィングを実施します）

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

<第1学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	1 体づくり運動 ・授業のマナーや集団行動の大切さを学習します。 ・体育祭に向けての取り組みと縦割り拡充授業を行います。	<体育分野> ・体を動かす楽しさや心地よさ、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。【知】 ・学習カード等に記載した技術の動きのポイント等を実技テスト、記録会において表現し、点数・記録を中心に評価する。生徒自身の成長具合や伸びしろも大切にする。【知】 ・運動の学び方、種目の特性や競技の仕方、安全や健康に関する知識・理解等の学習の深まりを学習カード、定期テスト等で評価する。【知】 ・種目の特性や成り立ち、その運動に関連して高まる体力などを理解することができ、課題解決のための方法を考え、学習カードにまとめ、よりよく技を習得するための工夫ができる。
	2 陸上競技（短距離・リレー）【+保健】 ・陸上競技の種目を行います。 ・心身の機能の発達と心の健康 ・AEDを使った心肺蘇生法実習	
	3 球技Ⅰ ・ネット型からバレーボール、ベースボール型からソフトボールを履修します。	
1 年 2 学 期	4 水泳 ・クロール・平泳ぎを中心に泳法を学びます。	【知】 ・積極的に取り組む姿勢や、ルールやマナーを守ろうとすることで、種目の特性を生かし、個々に応じた動きを認めあうことができる。健康・安全に気を配り、すすんで授業に参加することができる。【主】 ・授業の準備（行動、動作、発言、意見、提出物、忘れ物、服装等）学習内容に関心をもち、教科書の資料等を活用し、情報を収集し課題について調べるなど粘り強く学習に取り組もうとしている。【主】 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。また、仲間からのアドバイスを参考にし、課題解決のための手段としての手掛かりとすることができる。
	5 体づくり運動 ・自分の体力の現状の把握と、体操を通して体を動かすしくみを理解します。	
	6 器械運動（マット・跳び箱） ・マット運動の技を身につけていきます。	
1 年 3 学 期	7 陸上競技（長距離走）【+保健】 ・長距離走の基本的な練習法で自分の体力に合わせた目標を定めて学習します。 ・心身の機能の発達と心の健康・健康と環境	【思】 <保健分野> ・日常の健康生活との関係から、生活に役立たせる基本的・基礎的なことを理解している。【知】 ・毎日の生活と健康について関心をもち、課題解決に向けての方法を考慮し、進んで取り組もうとしている。【主】 ・自分の健康生活を振り返りながら、習得した知識をワークシートにまとめることができる。【思】
	8 武道・ダンス ・柔道・剣道のどちらかを選択し2年間行います。 ・ダンスは、全員必修で行います。	
	9 球技Ⅱ ・ゴール型から、バスケットボール、ハンドボール、サッカーのうち1～2種目を選択し履修します。	
1 年 3 学 期	10 保健 ・心身の機能の発達と心の健康 ・健康な生活と疾病予防	

<第2学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2 年 1 学 期	1 体づくり運動 ・授業のマナーや集団行動の大切さを学習します。 ・体育祭に向けての取り組みと縦割り拡充授業を行います。	<体育分野> ・体を動かす楽しさや心地よさ、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。【知】 ・学習カード等に記載した技術の動きのポイント等を実技テスト、記録会において表現し、点数・記録を中心に評価する。生徒自身の成長具合や伸びしろも大切にする。【知】 ・運動の学び方、種目の特性や競技の仕方、安全や健康に関する知識・理解等の学習の深まりを学習カード、定期テスト等で評価する。【知】 ・種目の特性や成り立ち、その運動に関連して高まる体力などを理解することができ、課題解決のための方法を考え、学習カードにまとめ、よりよく技を習得するための工夫ができる。
	2 陸上競技（短距離・リレー）【+保健】 ・陸上競技の種目を行います。 ・障害の防止 ・AEDを使った心肺蘇生法実習	
	3 球技Ⅰ ・ネット型、ベースボール型からバレーボール・ソフトボール・卓球の3種目から1種目を選択し履修します。	
	4 水泳 ・クロール・平泳ぎを中心に泳法を学びます。	
2 年 2 学 期	5 体づくり運動 ・自分の体力の現状の把握と、体操を通して体を動かすしくみを理解します。	【知】 ・積極的に取り組む姿勢や、ルールやマナーを守ろうとすることで、種目の特性を生かし、個々に応じた動きを認めあうことができる。健康・安全に気を配り、すすんで授業に参加することができる。【主】 ・授業の準備（行動、動作、発言、意見、提出物、忘れ物、服装等）学習内容に関心を持ち、教科書の資料等を活用し、情報を収集し課題について調べるなど粘り強く学習に取り組もうとしている。【主】
	6 器械運動（跳び箱・マット） ・マット・跳び箱運動の技を身につけていきます。	
	7 陸上競技（長距離走）【+保健】 ・長距離走の基本的な練習法で自分の体力に合わせた目標を定めて学習します。 ・障害の防止・健康な生活と疾病予防	
2 年 3 学 期	8 武道・ダンス ・柔道・剣道のどちらかを選択し2年間行います。 ・ダンスは、全員必修で行います。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。また、仲間からのアドバイスを参考にし、課題解決のための手段としての手掛かりとすることができる。
	9 球技Ⅱ ・ゴール型から、バスケットボール、ハンドボール、サッカーのうち1～2種目を選択し履修します。） 10 保健 ・健康な生活と疾病の予防	

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	1 体づくり運動 - 授業のマナーや集団行動の大切さを学習します。 - 体育祭に向けての取り組みと縦割り拡充授業を行います。	<体育分野> - 体を動かす楽しさや心地よさ、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。【知】 - 学習カード等に記載した技術の動きのポイント等を実技テスト、記録会において表現し、点数・記録を中心に評価する。生徒自身の成長具合や伸びしろも大切にする。【知】 - 運動の学び方、種目の特性や競技の仕方、安全や健康に関する知識・理解等の学習の深まりを学習カード、定期テスト等で評価する。【知】 - 種目の特性や成り立ち、その運動に関連して高まる体力などを理解することができ、課題解決のための方法を考え、学習カードにまとめ、よりよく技を習得するための工夫ができる。【知】 - 積極的に取り組む姿勢や、ルールやマナーを守ろうとすることで、種目の特性を生かし、個々に応じた動きを認めあうことができる。健康・安全に気を配り、すすんで授業に参加することができる。【主】 - 授業の準備（行動、動作、発言、意見、提出物、忘れ物、服装等）学習内容に関心を持ち、教科書の資料等を活用し、情報を収集し課題について調べるなど粘り強く学習に取り組もうとしている。【主】 - 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。また、仲間からのアドバイスを参考にし、課題解決のための手段としての手掛かりとすることができる。【思】
	2 陸上競技（短距離・リレー）【+保健】 - 陸上競技の種目を行います。 - 健康な生活と病気の予防 - AEDを使った心肺蘇生法実習	
	3 球技Ⅰ ネット型、ベースボール型からバレーボール・ソフトボール・卓球の3種目から1種目を選択し履修します。	
3 年 2 学 期	4 水泳 クロール・平泳ぎを中心に泳法を学びます。	<保健分野> - 日常の健康生活との関係から、生活に役立たせる基本的・基礎的なことを理解している。【知】 - 毎日の生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けての方法を考慮し、進んで取り組もうとしている。【主】 - 自分の健康生活を振り返りながら、習得した知識をワークシートにまとめることができる。【思】
	5 体づくり運動 自分の体力の現状の把握と、体操を通して体を動かすしくみを理解します。	
	6 器械運動（跳び箱・マット） マット・跳び箱運動の技を身につけていきます。	
3 年 3 学 期	7 陸上競技（長距離走）【+保健】 - 長距離走の基本的な練習法で自分の体力に合わせた目標を定めて学習します。 - 健康な生活と病気予防 ・健康と環境	<保健分野> - 日常の健康生活との関係から、生活に役立たせる基本的・基礎的なことを理解している。【知】 - 毎日の生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けての方法を考慮し、進んで取り組もうとしている。【主】 - 自分の健康生活を振り返りながら、習得した知識をワークシートにまとめることができる。【思】
	8 武道・ダンス 柔道・剣道・ダンスを選択し履修します。	
	9 球技Ⅱ ゴール型から、バスケットボール、ハンドボール、サッカーのうち1～2種目を選択し履修します。）	
3 年 3 学 期	10 保健 健康と環境 ・健康な生活と疾病予防	<保健分野> - 日常の健康生活との関係から、生活に役立たせる基本的・基礎的なことを理解している。【知】 - 毎日の生活と健康について関心を持ち、課題解決に向けての方法を考慮し、進んで取り組もうとしている。【主】 - 自分の健康生活を振り返りながら、習得した知識をワークシートにまとめることができる。【思】

技術・家庭科

1 学習のねらい

学習のねらい	○技術分野では、社会で利用されている技術についての理解を深める。家庭分野では、家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な基礎的な理解を図る。また、両分野ともに、それらにかかわる技能を習得する。 ○生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、表現する等課題を解決する力を身につける。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切に技術や生活を工夫し創造する態度を養う。	
使用教材	技術・家庭 技術分野 （開隆堂）	技術・家庭 技術分野 （開隆堂） ハンドノート （正進社）

2 評価の観点及び方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	・技術が社会の中でどのように活用されているかを知り、技術の基礎的な仕組みを理解し、それらを安全・適切に活用する技能を身に付けることができるか。	ワークシート・レポート等の提出物への記述内容 製作物 実技テスト・定期テストなど
	・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能が身につけられているか。	
思考・判断・表現	・生活の中から問題を見出して、課題を設定し、自分なりの解決策を構想して、試行錯誤しながら取り組むことができるか。	ワークシート・レポート等の提出物への記述内容 制作物の計画・改善・振り返り等の内容 実技テスト・定期テストなど
	・生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができるか。	
主体的に学習に取り組む態度	・より良い生活や社会の実現のために、主体的に技術を工夫し創造しようとしているか。 ・制作物をよりよいものとするために、あきらめずに取り組むことができるか。	観察（授業中の取り組み） ワークシート・レポート等の記述内容 制作物に関わる計画・改善・振り返りの内容
	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造することができるか。	

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・授業を一緒に作り上げていくための、積極的な取り組みをよろしくお願いします。 ・忘れ物に気をつけてください。 ・提出物は、自分の学習成果をアピールするためにも必ず出してください。
家庭	・技能、理解を深めるために、家庭での実践を行う。 ・家庭で実施する取り組みが課題にあるので、しっかりと取り組みましょう。

4 学習計画 ※下記の計画は理解の度合いに応じて、取り扱う内容や時期を変更することがあります

＜第1学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
1 年 1 学 期	技術分野ガイダンス ○技術と社会のつながり ○技術分野の学習の見通し 生物育英の技術 ○作物の育成 環境要因とその管理について 材料と加工の技術 ○材料の特性 木材・プラスチック・金属	生活や社会と技術の関わりについて理解している。【知】 技術に込められた問題解決の工夫について考えることができています。【思】 課題解決に向けて日々の取り組みを見直し、改善をしようとしている【主】
	・3年間を見通した家庭科のガイダンス ＜家族と家庭生活＞ ・自分の成長と家族・家庭 ＜食生活＞ ・食事の役割 ・健康によい食習慣 ・中学生の発達と必要な栄養 ・栄養素のたはらし	家族や家庭の機能について理解している。生活の中で食事が果たす役割について理解している。【知】 自分の食習慣について考え工夫している。【思】 栄養素の種類と働きがわかり栄養的な特質について理解している。【知】
1 年 2 学 期	材料加工の技術 ○加工の方法と社会での活用 ○製作品の設計 製図（等角図・第三角法による正投影図） ○製作品の製作 けがき、のこぎりびき等	製作に必要な図をかくことができる。【知】 生活の中から問題を見出して、自分なりの解決案を構想し表現できる【思】 課題解決に向けて、より良いものとなるように実習の計画を立てたり、調べたりしている【主】
	＜食生活＞ ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・肉・魚・野菜の調理の特性を知る。 ・調理の計画 ・調理実習（野菜・肉・魚・蒸し物）	調理上の性質を知り、基礎的な日常食の調理が適切にできる。【知】 1食分の調理における食品の選択や調理の仕方について問題を見出して課題を設定している【思】 日常食の調理について課題解決に向けて行動を振り返って改善しようとしている。【主】
1 年 3 学 期	材料加工の技術 ○ボックスの製作 切削、くぎ打ち等 ○材料加工の技術とこれからの社会	道具を目的に沿って適切に使用することができる。【知】 作業の進度や習熟度に応じて、計画を修正し、改善しようとしている【思】 課題解決に向けて、作業工程・日程を見据えて、作業を行おうとしている。【主】
	＜食生活＞ ・地域の食文化 ・1日分の献立 ＜衣生活＞ ・衣服の選択と手入れ	目的に応じた着用、個性を生かす着用を理解している。【知】 衣服の選択について課題を設定し課題解決にする力を身に付けている。【思】 日常着の手入れの仕方について課題解決に取り組もうとしている【主】

＜第2学年＞

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
2年1学期	＜エネルギー変換の技術＞ ○エネルギー変換の技術が担う役割 ○エネルギーの種類とその利用について ○発電と社会の関わりについて	身近なエネルギー変換の仕組みについての理解している。【知】 エネルギーの活用について、考え意見をまとめることができる。【思】 課題の解決に向け、改善に必要な事を考えようとしている【主】
	＜衣生活＞ ・衣服の目的とコーディネート ・衣服の補修方法を理解し、計画を行い実践する ・生活を豊かにするための布を用いた制作	衣服の補修方法や制作する物の縫い方を理解している。【知】自分らしい着方について考え表現することができる【思】日常着の手入れの仕方について課題の解決に取り組もうとしている。よりよい衣生活の実現に向けて制作について工夫し想像し、実践しようとしている。【主】
2年2学期	エネルギー変換の技術 ○動力を伝達するための技術 ○ロボットの設計・製作	エネルギー変換の技術の安全・適切な活用を理解している【知】 使用用途を想定し、必要な機能を考えることができる。【思】 課題解決に向けて、エネルギー変換の技術を活用しようとしている。【主】
	＜家族と家庭生活＞ ・自分の成長を振り返り、幼児の成長、関わり方について知る。 ・幼稚園訪問を行い、幼児との関わり関わり方について深める。 ・絵本作り ・幼児とのふれあい体験	幼児との関わり方の課題の設定し、実際に幼児とふれあいを表現できる【思】 幼児の生活と家族について課題解決に向けた行動を振りかえって改善しようとしている。【主】 幼児の心身の発達がわかり、幼児との関わり方を理解している。【知】
2年3学期	エネルギー変換の技術 ○ロボットの改善 ○エネルギー変換の技術とこれからの社会 新しい技術と持続可能な社会との関わり	作り出したい動きを実現するために必要知識を理解し、必要な仕組みを作ることができる。【知】 身近な製品の回路の仕組みについてかんがえることができる。【思】 これからの社会における、エネルギー変換の技術の適切な活用方法について、自分なりの答えを導こうとしている。【主】
	＜家族と家庭生活＞ ・幼稚園訪問を終えての、まとめのレポート制作 ・家族や地域との関わりを考える	幼稚園訪問を終えて、自身が修得したことをまとめる表現することができる【思】 地域の人々協働する必要があることについて理解している【知】 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて工夫し想像し実践しようとしている。【主】

<第3学年>

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	コンピュータについて ○コンピュータの要素 - ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツの制作 ○ネットワークの利用・双方向性についての理解 ○コンテンツの制作のためのプログラミングの習得	目的に合ったプログラムを書くことができる。【知】 コンピュータの要素に着目してPCを選ぶことができる。【思】 情報の技術が生活に与える影響について考えようとしている【主】
	<住生活> ・空間の使い方を工夫した住まい方について ・住居の機能と安全な住まい方 ・防災	住まいの空間について調べようとしている【主】 自分の空間の使い方の課題を解決しようとしている【思】 家庭内の事故の防ぎ方など安全を考えた住空間の整え方を理解している。【知】
3 年 2 学 期	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツの制作 ○コンテンツ制御のためのプログラミング技能の習得 ○コンテンツによる課題解決策の構想・実践 - 計測・制御システムの制作 ○計測・制御システムの要素・役割の理解	情報通信ネットワークを構成する基礎的な仕組みを理解している。【知】 コンテンツによって解決できる課題を、生活の中から見つけ出すことができる。【思】 自分なりの考え方で、課題を解決しようとしている。【主】
	<消費生活・環境> 消費生活のしくみ、商品購入の情報収集・活用、購入方法	消費生活のしくみを理解している【知】 消費生活について課題を見つけようとしている【主】 商品購入の情報収集を行い、まとめようとしている【思】
3 年 3 学 期	計測・制御システムの制作 ○計測・制御システムによる課題解決の構想・実践 - 情報モラル・セキュリティの学習 ○情報モラルの必要性和実践 ○情報セキュリティの重要性について	情報モラル・セキュリティの重要性を理解している。【知】 計測・制御システムの仕組みを理解し、課題を解決しようとしている。【思】 情報モラルの必要性・意義について考えようとしている。【主】
	<消費生活・環境> 消費生活のトラブルについて知る生活における環境負荷について課題解決策の構想・実践	消費生活のトラブルについて理解している【主】 環境についての課題・自分の空間の使い方の課題を生活の中から見つけ出し解決しようとしている【思】 自分で計画し、考え、解決しようとしている【主】

特別の教科 道徳

学習計画 下記の内容は、前後および変更する場合があります。

月	1年		2年		3年	
	主題名	資料名	主題名	資料名	主題名	資料名
4月 から 9月	相手の立場に立った支え合い	バスと赤ちゃん	たゆまぬ努力	鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅	調和のある生活	〇〇流デジタルライフ
	場に応じた挨拶	挨拶しますか、しませんか	人を思いやる心	旗	自ら考え判断し、責任を持つ	思い出のオムライス
	命を育む	妹が生まれて	法やルールはなぜ必要	ごみ収集場所をどこに	差別や偏見のない社会の実現	百年たっても
	公正に考えるとは	うわさで決めるの？	差別や偏見のない公平な心	ソムチャイ君の笑顔	かけがえのない生命	余命ゼロ 命のメッセージ
	信頼と敬愛に支えられた友情	あるピエロの物語	自然を大切にすることの意義	コスモスR計画	住みよい社会と権利	アップロード ダウンロード
	よさを輝かせて	大きく輝く	責任ある自律した生き方	父との約束	自然環境と人類	赤道直下にすむ マウンテンゴリラ
	かけがえのない家族	黒い弁当	幸せを願う友情	サキとタク	未来を創造する	町工場から宇宙へ
	誠実な生き方	真庭での出来事	社会の発展を願う心	ヨコスカネイビーパーカー	よりよい社会をつくるために	世界一厄介な問題
	自然の美しさに感動する心	自然の懷に抱かれて	互いに理解し、謙虚に学ぶ	蹴り続けたボール	気高く生きようとする心	二人の弟子
	自然との共生	トキのいる里をもう一度	自分のよさを伸ばして	ジャッジとチャレンジ	共に成長する	私たちの夏
	心身の調和を求めて	宇宙で過ごすために 野口聡一	勤労の意義	初めてのアルバイト	それぞれの立場の尊重	笛
	理想に向かって	本の世界よ、みんなに 届け 村岡花子	生きていることの有難さ	そこにいてだけでいい	郷土愛と伝統継承への意欲	悠久の時を超えて
	郷土を愛する	岩泉を守る	公德心に支えられている社会	キャッチボール	望ましい生活習慣	独りを慎む
	自らの役割を果たす日本人	真の国際人 嘉納治五郎	友情を支えるもの	先輩がくれたひと言	家族の絆	一冊のノート
10月 から 3月	自分の行動に責任を	ネット将棋	創造する心	ものづくり	温かな思いやり	電車の中で
	望ましい地域社会	町内会デビュー	国際的視野に立った貢献	共に未来を	よりよい国際協力の形	もっとわかり合いたい
	人の善意に感謝する心	金色の稲穂	理想を求めて	三人の誓い 大山捨松	充実した生き方を求めて	境界線を越える
	輝かせる命	たとえ僕に明日はなくとも	生命の尊厳	ブラック・ジャック ふたりの黒い医者	責任ある誠実な生き方	領民を愛した名君 上杉鷹山
	権利ときまり	私も同じだよ	真理への挑戦	ヒト・IPS細胞を求めて 山中伸弥	社会の秩序と規律	二通の手紙
	心の弱さを乗り越える	日曜日の朝に	相手の立場を考えて真理への挑戦	つい言い過ぎて	命の重さ	忘れられないご馳走
	希望をもち、前向きに生きる	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	深い愛情で結ばれている家族	美しい母の顔	進んで社会と関わって	未来の日本へデビュー
	誰にとっても公平な社会	公平とはなんだろう	かけがえのない自他の生命	絶やしてはならない 緒方洪庵	互いの個性の尊重	どうして？
	相手を受けとめる	らしさって何だろう	誰が集団を作るのか	青のオーケストラ	美しいものへの畏敬の念	ルリボシカミキリの青
	誠意ある行為の美しさ	ネパールのピール	弱さと向き合い誇り高く生きる	足袋の季節	高め合う友情	二人はライバル
	仲間と共に	伝統を伝説に	優れた文化の継承	津波でんでんこ	正義と公正を重んじる	卒業文集最後の二行
	世界の中での日本文化のすばらしさ	日本の心と技	愛校心をもって	未来に響け“復興輪太鼓”	地域に根付いた文化の継承	白川郷に魅せられて
	相手のよさを認め合う	クラスメイト	心と形が伴った礼儀	お通夜のこと	真理を求めて生きる	正確な日本地図の追究 伊能忠敬
	自己の向上を図る	イチローの軌跡	自律した生活のよさ	黒蜘蛛の元次	場に応じた礼儀	礼儀って
	続ける努力	認められたクラブ	気高く生きる	償い	自他の生命の尊重	優介の決意
	働く喜びと充実した生き方	掃除の神様が教えてくれたこと	日本が誇る伝統や文化の継承	金間再建 黄金天井に挑む	よりよい校風をつくる	雪が降ると思いつくことがある
	友情を深めるために	吾一と京造	自然の中で共に生きる	リンゴが教えてくれたこと	深い人間愛	五井先生と太郎
	公德を大切にすること	傘の下	感動する心	厳かなるもの	立ち向かう勇氣	スポーツの力
	役割を果たす	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	誰もが参画できる社会に	OriHimeがつなぐ世界	勤労を通じた社会貢献	「血の通った義足」を作りたい
	尊い命	捨て犬・未来	安全な生活	私は大丈夫 ～そんな 気持ちはないですか	世界の平和に貢献する	杉原千敏の選択
	新たな可能性を求めて	ゲームから広がる可能性	温かい人間愛	帰郷	生きることの喜び	亡き母へのトランペット

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間の授業を受けるにあたって

《総合的な学習の時間の目標》

横断的・総合的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること

《総合的な学習の時間で身につける力》

- 自己の生き方につながるような、的確な課題を設定するとともに、自分の経験や知識、技能を活用し、よりよい課題解決のために試行錯誤しながら粘り強く探究すること。
- 学習過程を通して培われた自分なりの考えを相手や目的に応じて工夫して表現すること。
- 主体的・創造的に探究的な学習に取り組み、仲間や地域の人々とのつながりを深めるとともに、地域に参画すること。
- 将来の生き方を幅広く考え、夢と希望をもち、自分に合った進路選択をすること。

《総合的な学習の時間とは》

総合的な学習の時間における探究的な学習とは、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の活動である。探究的な学習とは、以下のような流れである。

- ① **課題の設定**：日常生活や社会に目を向けたときに出てくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つける。
 - ② **情報の収集**：そこにある具体的な問題について情報を収集する。
 - ③ **整理・分析**：情報を整理・分析し、知識や技能に結びつけたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組む
 - ④ **まとめ・表現**：明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見つける。
- ①～④を繰り返していく中で、様々な力を身につけていく。

《総合的な学習の時間では、下記の考え方で評価、評定をします。

- ・教科の授業と違い、試験などの数値によって評価するものではありません。活動や学習過程、報告書や作品、発表や討論など 学習の状況や成果（学習の過程で身につけた力）があるかについて評価をします。
- ・その他、学習に対して意欲的に取り組んでいたか、積極的に参加していたか、みんなと協力していたかなどの、意欲・態度も踏まえた評価をします。

学習計画

*内容や夏休み、冬休みの課題などの関係で、進捗は変更になる場合もあります。

学 期	月	1 年	2 年	3 年
		項目・題材	項目・題材	項目・題材
1 学 期	4	○オリエンテーション	○オリエンテーション	○オリエンテーション
	5	○地域を知る	○社会を支える仕事	○日本の文化を知る
	6	OSTEAMS TIME プログラミング	OSTEAMS TIME 創造性をはぐくむ PBL	○日本の文化・情勢の理解を 深める。
	7			※修学旅行
2 学 期	8			
	9	○自分たちと地域のつながりを考 える	OSTEAMS TIME プログラミング	OSTEAMS TIME プログラミング
	10	OSTEAMS TIME 創造性をはぐくむ PBL	○上級学校を知る	○自分と社会、また国際社会との つながりを考える
	11		○職業と進路選択のつながり	
	12		○働く人々	
3 学 期	1	○1年間の学習のまとめ	○働く人々 ※未来くるワーク	OSTEAMS TIME 創造性をはぐくむ PBL
	2			
	3		○1年間の学習のまとめ	○1年間の学習のまとめ
合 計		24	53	53

特別活動

学習計画 ※下記の計画は、取り扱う内容や時期を変更することがあります。

月	時	第1学年	第2学年	第3学年
4	1	中学生になって	中堅学年になって	最上級生になって
	1	学級目標をつくろう	学級目標をつくろう	学級目標をつくろう
	1	学級組織をつくろう	学級組織をつくろう	学級組織をつくろう
5	1	中学校の学習	心だって風邪をひく（「いのちの支え合い」を学ぶ授業）	学習計画の作成
	1	ストレスを上手に発散しよう（「いのちの支え合い」を学ぶ授業）	体育祭を成功させよう	自分の将来に自信をもって（「いのちの支え合い」を学ぶ授業）
	1	集団生活におけるルールとマナー	学ぶこと働くことの目的	修学旅行を成功させよう①
6	1	学級の問題を解決しよう	学級の問題を解決しよう	学級の問題を解決しよう
	1	薬物乱用防止教室	薬物乱用防止教室	薬物乱用防止教室
	1	生徒総会議案書の検討をしよう	生徒総会議案書の検討をしよう	生徒総会議案書の検討をしよう
7	1	自分のよさや得意なことを伸ばす学習	学ぶための制度と機会①	修学旅行を成功させよう②
	1	自己の安全確保	自己の安全確保	自己の安全確保
	1	1学期の生活を振り返ろう	1学期の生活を振り返ろう	1学期の生活を振り返ろう
9	1	2学期の見通しをもとう	2学期の見通しをもとう	2学期の見通しをもとう
	1	学ぶことの楽しさ	校外学習を成功させよう	ボランティア活動をしている人々に学ぶ
	1	学級の問題を解決しよう	学習環境の整備	学級の問題を解決しよう
	1	情報化社会におけるモラル	社会人としてのマナー	社会人として生きる
10	1	合唱コンクールを成功させよう	生徒会役員選挙に向けて話し合おう	合唱コンクールを成功させよう
	1	身近な人の職業	合唱コンクールを成功させよう	後期に向けて学級生活を見直そう
	1	学級生活を見直そう	学級生活を見直そう	学級組織を見直そう
	1	学級組織を見直そう	学級組織を見直そう	進路希望先の再検討
11	1	学校図書館の意義とその利用	食の安全指導教室	食の安全指導教室
	1	食の安全指導教室	学ぶための制度と機会②	情報化社会におけるモラル
	1	男女の相互理解	三者面談に向けて	働くことと生きがい
12	1	学習の悩み	ボランティア活動の意義	心の健康教室
	1	心の健康教室	性についての正しい理解	性についての正しい理解
	1	2学期の生活を振り返ろう	2学期の生活を振り返ろう	2学期の生活を振り返ろう
1	1	新年の抱負	新年の抱負	新年の抱負
	1	10年後の私	未来くるワークを成功させよう	理想の実現
	1	生徒会誌に取り組もう	人間の尊重と男女平等	受験期の心構え
2	1	生活習慣の見直しと学習	個性の伸長と生活の充実	卒業文集をつくろう
	1	友人への期待と励まし	自分の特色と進路計画	男女共同参画社会と自分のあり方
	1	自然の教室を成功させよう	自由と責任、権利と義務	卒業までの計画を立てよう
3	1	球技大会を成功させよう	希望の実現	学級お別れ会を開こう
	1	進路計画の必要性和と立て方	卒業式参加の際の心構えを考えよう	奉仕活動に取り組もう
	1	1学年のまとめをしよう	2学年のまとめをしよう	感動的な卒業式にしよう

さいたま市立田島中学校

自閉症・情緒障害特別支援学級

令和8年度 年間指導計画

学 期		1 学 期				2 学 期				3 学 期			総授業時数						
月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
○学校行事 ☆学級の行事 ★他校との の合同行事等		○始業式 ○入学式 ○健康診断 ○避難訓練 ○離任式 ☆保護者会 ☆教育相談面談 ☆新入生歓迎会	○新体力テスト	○学校総合体育大会 ○体育祭 ○期末テスト ★特支見学会 ☆校外学習	○修学旅行 ○大掃除 ○終業式 ☆保護者会 ★特支見学会	○始業式 ☆2年産業現場等実習	○つぼみの日 ○新人体育大会 ○市駅伝大会 ○中間テスト ○合唱コンクール	○小中合同音楽会 ○期末テスト ★特支見学会	○大掃除 ○終業式 ☆教育相談面談 ★特支見学会	○始業式	○学年末テスト ★作品展 ★特支小中交流会 ★新入生体験入学	○卒業式 ○修了式 ○1年館岩自然の教室 ☆保護者会							
各教科を合わせた指導	日常生活の指導	①登校（あいさつ、交通安全、時間を守る） ②朝の準備（着替え、整理・整頓、提出物、係活動） ③交流での朝読書(集中力、集団生活) ④朝の会（あいさつ・返事、今日の予定、健康観察）				⑤休み時間の過ごし方（トイレ、手洗い・うがい、遊び） ⑥チャイム着席（時計を見て行動、仲間への呼びかけ） ⑦当番、委員会、係活動 ⑧給食（手洗い、準備、好き嫌い、片付け、歯磨き）				⑨清掃（責任・協力、片付け、報告） ⑩帰りの準備（着替え、生活ノートの記入、整理・整頓） ⑪帰りの会（あいさつ、一日の感想、明日の予定） ⑫下校（あいさつ、係活動、交通安全） ※登校、朝の会、休み時間、給食、清掃、帰りの会、下校などの 学校教育全体 で指導する。				140					
	生活単元学習	①中学生になって（進級して） ③学校・学級のルールや生活を知ろう ⑤私の体（身体測定、体力テスト） ⑦体育祭へ向けて ⑨夏休みの生活の計画		②新入生歓迎会 ④学級の委員会・係を決めよう ⑥先生とのお別れ(離任式) ⑧1学期の思い出 ⑩暑中お見舞い		①2学期を迎えて ③合唱コンクールに向けて ⑤文化部発表会へ向けて ⑥冬休みの生活の計画 ⑧年賀状		②学級の委員会・係を決めよう ④校外学習へ向けて ⑦2学期の思い出		①3学期を迎えて ③作品展へ向けて ⑤卒業式へ向けて ⑦春休みの生活の計画		②小中交流会へ向けて ④球技大会へ向けて ⑥一年間の振り返り	140						
	作業学習	【手芸・刺し子】 ◇小中交流会に向け、製品を製作する 【生産活動】 ・スウェーデン刺繍…ポケットティッシュケース、針山などの製作（刺繍・アイロンがけ・ミシン等） 【頒布の準備・練習】 ・接客と金銭実務の練習 ・製品の袋詰め、値札付け ・売り場作り、リハーサル 【頒布】 小中交流会で小学生への頒布活動 【片付け・反省会】 ・売上金の集計 ・感想と反省 ・一年間のまとめ 【園芸】 ◇野菜を栽培しよう（季節の野菜）												140					
教科別の指導	国語	<table><tr><td>聞く話す</td><td>先生や仲間の話、放送や録音、指示・説明などの内容を聞き取る 見聞いたこと、体験、自分の意志などを話す 自己紹介 ていねいな言葉 電話での応答 などなど ことわざ 標語 俳句 発音 話す速さ 声の大きさ カルタ</td></tr><tr><td>読む</td><td>物語、詩、紀行文、劇の脚本、表示、標語、案内板、看板、ポスター、広告、説明書、領収書、新聞記事、雑誌などを読み取る 平仮名、片仮名、漢字、ローマ字などの文字 外来語の意味 書道 硬筆</td></tr><tr><td>書く</td><td>いろいろな手紙や日記、感想文、観察日記、行事の案内状や招待状、履歴書、諸届、申込書などを正しく書く 主語と述語の関係 句読点の使い方 長音、拗音、促音、撥音、助詞の使い方 漢字と片仮名 パソコン等の活用</td></tr></table>										聞く話す	先生や仲間の話、放送や録音、指示・説明などの内容を聞き取る 見聞いたこと、体験、自分の意志などを話す 自己紹介 ていねいな言葉 電話での応答 などなど ことわざ 標語 俳句 発音 話す速さ 声の大きさ カルタ	読む	物語、詩、紀行文、劇の脚本、表示、標語、案内板、看板、ポスター、広告、説明書、領収書、新聞記事、雑誌などを読み取る 平仮名、片仮名、漢字、ローマ字などの文字 外来語の意味 書道 硬筆	書く	いろいろな手紙や日記、感想文、観察日記、行事の案内状や招待状、履歴書、諸届、申込書などを正しく書く 主語と述語の関係 句読点の使い方 長音、拗音、促音、撥音、助詞の使い方 漢字と片仮名 パソコン等の活用	◇まとめ ・行事ごとの振り返り、感想文など ・近況報告、礼状などの手紙	140
聞く話す	先生や仲間の話、放送や録音、指示・説明などの内容を聞き取る 見聞いたこと、体験、自分の意志などを話す 自己紹介 ていねいな言葉 電話での応答 などなど ことわざ 標語 俳句 発音 話す速さ 声の大きさ カルタ																		
読む	物語、詩、紀行文、劇の脚本、表示、標語、案内板、看板、ポスター、広告、説明書、領収書、新聞記事、雑誌などを読み取る 平仮名、片仮名、漢字、ローマ字などの文字 外来語の意味 書道 硬筆																		
書く	いろいろな手紙や日記、感想文、観察日記、行事の案内状や招待状、履歴書、諸届、申込書などを正しく書く 主語と述語の関係 句読点の使い方 長音、拗音、促音、撥音、助詞の使い方 漢字と片仮名 パソコン等の活用																		
※この学習内容の中から、生徒の実態に合わせて指導する。																			

特別活動	※各個人の意欲・能力・障害の状況等に応じて生徒の負担のないよう、通常の学級(交流学級の集団)で、朝の会、教科、行事等の活動に参加する。 ・交流朝の会…交流教室にて ・行事…校外学習、体育祭、合唱コンクール、館岩自然の教室 など	35
特別の教科 道徳	・中学生としての自覚をもって行動できる生徒【自主、自律、自由と権利】 ・相手の立場を尊重し、仲間を大切にできる生徒【相互理解、寛容】 ・生命の尊さを知り、自己の生き方について考えることができる生徒【生命の尊さ】【よりよく生きる喜び】 ※学校の全教育活動を通して指導する	1
自立活動	個別の指導計画を参照 〈健康の保持〉生活のリズムや生活習慣の形成に関する内容…うがい、手洗いの習慣を身に付ける。 / 寒暖に合わせて服装を調節することができる。 / 進んで体を動かすことができる。 〈心理的な安定〉情緒の安定に関する内容、状況の変化への適切な対応に関する内容…状況や日課の変化を事前に知らせ、落ち着いた生活ができるようにする。 〈人間関係の形成〉個別指導、小集団の指導、自閉・情緒障害特別支援学級との合同学習、通常級との交流学習を個々の実態に合わせて取り入れ、基本的な行動及び友達との関わり方を学ぶ。 〈環境の把握〉保有する感覚の活用に関する内容…保有する感覚（聴覚、視覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭）を十分に活用することができる。 〈身体の動き〉姿勢と運動・動作の基本的技能に関する内容…その都度教員が、口頭で説明したり、手を添えたりせずに正しい姿勢の保持や運動。動作を身に付ける。 〈コミュニケーション〉コミュニケーションの基礎的能力に関する内容、言語の受容と表出に関する内容、言語の形成と活用に関する内容、コミュニケーション手段の選択と活用に関する内容、状況に応じたコミュニケーションに関する内容…カード、サイン、文字、話し言葉によるコミュニケーションスキルの向上を図る。	生活 単元 とセ ット

学年	日常生活 の指導 ※	生活単元 学習	作業学習	国語	数学	音楽	美術	体育	職業 ・家庭	G・S	総合的な 学習の時間	特別活動 ※※	特別の教科 道徳 ※※※	自立活動 ※※※※	年間授業時数	
1年生		140	140	105	105	70	70	175	70	35	70	35	1		1015	+ 1
2年生		140	140	105	105	70	70	175	70	35	70	35	1		1015	+ 1

※ 日常生活の指導：学校の全教育活動を通して指導する。

※※ 特別活動：各個人の意欲・能力・障害の状況等に応じて生徒の負担のないよう、通常の学級(交流学級の集団)で、朝の会、教科、行事等の活動に参加する。
+15時間は合唱コンクールの放課後練習期間にあてるとして。

※※※ 道徳：学校の全教育活動を通して指導するが、年間で1時間、生徒の実態に合わせた教材を用いて授業を行う。

※※※※ 生活単元学習と内容を合わせて行う。